

# IV

## 履修の手引

---


- 諸規程と履修登録
- シラバス
- FU プラスアップ授業
- 履修登録上の注意事項
- 履修登録等の日程
- 全学部共通留意事項
- 商学部第二部留意事項
- 会計専門職プログラム
- クリエイティブ・マネジメント・プログラム
- 高校商業・情報科教員育成プログラム
- 地域ビジネスデザインプログラム
- 令和6年度入学生(24台)卒業要件単位数・年次別授業科目表
- 各種課程の履修について
- 外国語科目クラス別担当者一覧

# 諸規程と履修登録

大学において単位を修得し卒業するためには、学則・学科履修規程ならびにそれらに準じて取り扱われる規程に従って学習を進めていかなければなりません。


履修方法を誤ったり、多くの授業科目で不合格になると、進級できなかつたり、4年間（医学部医学科および薬学部は6年間）で卒業できないようなことになりかねません。

授業内容を考慮することはもちろん、規程をよく理解したうえで、履修する授業科目を選択し、学習計画を立てるようにしてください。

 分からないことがあれば、所属学部の事務部署へ気軽に尋ねてください。規程の内容を確認したり、学習計画を立てるうえでの相談やアドバイスを受けたりすることができます。

## 1 諸規程の適用

学則・学科履修規程など履修に関する諸規程は、在学中に改正される場合もありますが、卒業のための要件は原則として入学時の規程が適用されます。

 「学則」をはじめとする諸規程の中には、入学時に配付する印刷物にしか掲載していないものがあります。入学した年度の「学修ガイド」を卒業するまで大切に保管してください。

## 2 諸規程の改正

入学から卒業までの間に改正された学則・学科履修規程などが在学生に適用されることがあります。

この場合は、改正された内容が毎年度配付する『学修ガイド』に掲載されますので、入学時の規程と対比してどのように改正されたかを把握し、間違った履修をしないようにしてください。

## 3 履修登録とは

履修登録とは、各自が年間の履修計画を立て、その計画に基づき授業科目を申請する手続きのことです。

そのために、『学修ガイド』あるいは学部から配付される履修登録に関する資料などをよく読み、「授業時間割」「試験時間割」「シラバス」をもとに自分の履修計画に沿って、FUポータルより履修登録を行ってください。

**履修登録を正しく行わなかった場合、その授業科目の受講・受験は認められず、単位も修得できません。履修登録は、各自の責任において行うことを自覚してください。**

# シラバス

## 1 シラバスとは何か

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。シラバスには、科目名だけではわからない詳細な情報が記載されています。次のように活用してください。

### ●履修計画を立てる時の参考とする。

大学の学修は、自分で必要な科目を選択します。関心をもった科目は、まずシラバスをよく読んで履修するかどうかが決めましょう。

シラバスには、各授業科目の概要や到達目標、成績評価基準および方法等が掲載されていますので、どのような授業を受けたいのか、また授業を通してどのような知識・理解を深めたいのかを考える時の参考にしてください。

### ●日々の授業の予習・復習に役立てる。

シラバスには、各授業科目の授業計画やテキスト等が掲載されていますので、予習・復習等に役立ててください。

## 2 シラバスの項目

主な項目	内 容
科目名	履修申請をする際に表示される科目名が記載されています。
授業形態	授業が以下のどの形態で行われるかが記載されています。 【①講義、②講義（外国語による）、③演習、④実験、⑤実習、⑥実技、⑦講義及び演習、⑧講義及び実習】
担当教員	担当教員名が記載されています。
実務経験	「有り」と表記されている場合は、担当教員が授業科目に関連する実務経験を有しており、その経験を活かした授業を行います。また、どのような実務経験を有し、どのような授業を行うのか、「概要」欄に記載されます。
科目水準	科目が以下のどの水準であるかが記載されています。 【①入門、②初級、③中級、④上級】
授業の種類	科目が「対面授業科目」であるか「遠隔授業科目」であるかが記載されています。
概要	授業内容に加えて、本科目の位置づけ、科目のねらい、授業概要等が記載されています。
授業の進行・方法	授業の具体的な進め方、学習の方法などわかりやすく記載されています。
アクティブ・ラーニング	1回でもとりいれている授業の場合は、「あり/Yes」と記載されています。
到達目標	授業を全て受けることで、みなさんが到達することのできる目標が記載されています。授業終了後には、各到達目標をどの程度達成できたかを「授業アンケート（FURIKA）」にて振り返ります。
授業時間外の学習（予習・復習）	授業の事前・事後に行う自主学習について記載されています。 ☞本書「授業・試験」→「単位と授業時間」参照（p.21）
成績評価基準および方法	「到達目標」に対するみなさんの達成度をどういった基準で評価するのか、また、どのような方法（定期試験、平常点（小テスト、課題等）、レポート等）で評価するのかが記載されています。
テキスト、参考書	授業で使用するテキストが記載されています。テキストは授業開始日までに購入しておくようにしましょう。 ☞本書「授業・試験」→「テキストの購入」参照（p.24）
履修上の留意点	履修するにあたっての留意点や前提となる知識・能力などが記載されています。
授業計画	15回の授業計画がわかりやすく記載されています。

※項目名は、授業科目により異なる場合があります。

※アクティブ・ラーニングとは、次のような要素を取り入れた授業方法を指します。

・PBL（課題解決型学習） ・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）  
・ディスカッション、ディベート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・学習、フィールドワーク

出典：令和元年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1-4アクティブ・ラーニング）

## 3 シラバスの閲覧

### ● 閲覧方法

シラバスは、FU ポータルから閲覧することが可能です。FU ポータルにログインし、「授業関連」タブ ⇒ 「WEB シラバス」 ⇒ 「シラバス閲覧 (学部)」にアクセスしてください。教員名、科目名、学部・学科等から検索し、閲覧することができます。詳細は本書巻末の「履修登録の手引」付録③を参照してください。

#### ☞ FU ポータルとは？

福岡大学生のためのポータルサイトで、Web 上で提供される様々なサービスの入口となります。詳細は、本書「授業・試験」→「大学からの連絡 ((1)「FU ポータル」)」を参照してください。

(p. 19～20)

### ● 公開日

履修登録に先立ち、3月上旬に公開します。

## FU プラスアップ授業

本学の授業は、原則として半期に15回で構成されています。前期・後期ともに15回の授業のうち、授業週として14週を設定し、残り1回分は動画配信による遠隔授業で実施します。この遠隔授業のことを「FU プラスアップ授業」と称します。

「FU プラスアップ授業」は、実施時期、内容により、「スタートアップ授業」と「中間フォローアップ授業」に二分され、どちらの授業で実施されるかは科目によって異なります。自身の履修する科目がどちらの授業で実施されるかについては、各科目のシラバス内の「授業計画」で確認してください。

スタートアップ授業を行う科目では、第1回目の授業はスタートアップ授業で行われます。前期・後期ともに、第1週の授業(第2回授業)開始前までに自身が受講する科目のスタートアップ授業を必ず視聴するようにしてください(前期は3月上旬～第1週の授業まで、後期は8月下旬～第1週の授業までに受講してください)。

※「FU プラスアップ授業」は、学期開始前に、自分がどの科目を履修するかを決めるための情報源として活用したり、自分が所属する学部以外のさまざまな学部の授業動画を見て関心を広げたりできるなど、活用の仕方はさまざまです。

〈例：新入生の場合〉

視聴目的	期 間
履修登録前に参考として視聴する場合	令和6年4月2日～令和6年4月5日
第1回目の授業として視聴する場合	令和6年4月2日～第1回授業日まで
復習や自身の関心を広げるために視聴する場合	令和6年4月2日～令和7年3月31日

※在学生はシラバス公開時から、翌年3月末日まで視聴可能です。自身の目的に合わせて視聴してください。

### ●スタートアップ授業

#### <概要>

第1回目に行われるシラバスの丁寧な説明を含んだ授業です。

本学の学生はすべてスタートアップ授業を3月上旬から1年間、いつでも閲覧することができるため、履修登録前に視聴することで、より主体的な履修選択ができます。

また、科目の狙いや到達目標、成績評価の基準などを学期期間中にいつでも参照できることで、より計画的、自律的な学習や授業期間中の振り返りを促すことを目的としています。

#### <視聴方法>

シラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を確認できます。

※第1週目の授業に係る内容が含まれている場合があるため、必ず第1週目の授業開始までに視聴してください。

#### <スタートアップ授業の主な流れ>

- ①履修登録開始前、履修する科目選びの参考にするため視聴します。  
(関心を持った科目のスタートアップ授業の「イントロダクション部分」を視聴してください。)
- ②履修登録後、第1回授業の内容を学ぶため、第1週の授業(第2回授業)前までに視聴します。  
(履修登録した科目の「授業内容紹介」を視聴してください。なお、課題が課される場合もあります。)

### ●中間フォローアップ授業

#### <概要>

第6回目から第9回目を目安に行われる中間振り返り授業です。

学期の中間地点で学修を振り返り、自身の到達度を確認することで、学習内容の定着を図ることを目的としています。

※中間フォローアップ授業では、その時点までにおいて自身がその授業の到達目標にどの程度到達したか、確認するための課題が課されます。

#### <視聴方法>

シラバスからは視聴できません。各科目担当教員の指示に従ってください。

#### <中間フォローアップ授業の主な流れ>

- ①主に6～9回目、中間フォローアップ授業を視聴し、課された課題に取り組みます。
  - ②課題提出後、自身の到達状況を確認し、授業後半の学習計画を見直します。
- ※通年授業や半期30回授業等で、学期中に中間フォローアップ授業を2回行う場合があります。  
担当教員から、中間フォローアップ授業の回数や時期を聞いて確認してください。

※FU プラスアップ授業の詳細については、『「FU プラスアップ授業」学生用マニュアル』を参照ください。

## 履修登録上の注意事項

### 1 履修登録の方法

FU ポータルで履修科目の登録手続きを行います。

インターネット環境があれば、自宅など学外から登録手続きを行えます。

## 2 準備するもの

履修登録を行うにあたり、次の書類・資料を準備してください。

- ・学修ガイド（特に「履修の手引」「試験時間割」「諸規程」「履修登録の手引」）
  - ・授業時間割
  - ・「学科基本クラス分け一覧表」（新生のみ配付。在学学生は学修ガイド（p. 41～43）に記載）
  - ・その他、各学部が作成した履修登録に関する資料
- ※シラバスは、FU ポータルから参照できます。（シラバスについては、学修ガイド p. 34～35参照）

## 3 授業時間割の見方

- 曜日・時限別に区分された枠内に、そこで開講される授業の科目名・担当者・開講期別・クラスなどが表示されています。  
時間割上で学部・学科あるいはクラスが指定されている授業科目は、それにしたがって履修登録してください。
  - 学部記号が○で囲まれている授業科目は、その学部の全学科の学生が登録できることを示しています。  
〔例〕①（法学部）……JJ（法律学科）、JB（経営法学科）とも登録可能。  
②（スポーツ科学部）……GS（スポーツ科学科）、GH（健康運動科学科）とも登録可能。
  - 学部や学科が指定されている授業科目は、指定の学部や学科の学生のみ登録することができます。  
〔例〕③・CC……経済学部全学科および商学部商学科のみ登録可能
  - 前期または後期で完結する4単位の授業科目については、週2回の授業が行われます。
  - 履修登録では、自分が登録することができる授業科目のみ表示されます。
- ※授業時間割表は、FU ポータルから参照できます。

## 4 クラス表示

授業時間のクラス表示については、下表に従い履修登録してください。

対象者	英 語	英語以外の科目	備 考
1年次生(24台) 2024年度入学生	FEとIE(注1)は事前に登録していますので、p. 62 4 外国語科目「1 外国語科目の履修登録について」の「●英語の履修登録について」を参照の上クラスを確認してください。(再履修者は除く)	「学科基本クラス分け一覧表」で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。	「学科基本クラス分け一覧表」は履修登録関係書類として配布します。
2年次生(23台) 2023年度入学生		「学科基本クラス分け一覧」(p. 41～43参照)で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。	—
3年次生(22台) 2022年度入学生			
4年次生(21台以前) 2021年度入学生	—		

(注1) FE……フレッシュマン・イングリッシュ  
IE……インターミディエイト・イングリッシュ

※東アジア地域言語学科のFEⅢ・ⅣとIEⅢ・Ⅳについては事前登録されていないので、履修する場合は各自で履修登録してください。

☺ 「フレッシュマン・イングリッシュ」「インターミディエイト・イングリッシュ」の再履修については、4 外国語科目「2 英語の履修について」の「●再履修について (FE・IE)」(p. 65～66)を参照してください。

〔クラス表示の例〕

	ク ラ ス 名 称		
英 語 ク ラ ス	<u>J</u> (学部)	<u>ESP—1</u> (クラス)	「英語」の登録用クラス
学 科 基 本 ク ラ ス	<u>J J</u> (学部・学科)	<u>5</u> (クラス)	「英語」以外の履修登録用クラス ※学科基本クラス分け一覧表参照

## 5 授業の重複

開講する期別・曜日・時限が同じ授業科目については、ひとつの授業科目しか登録することができません。通年で開講する授業科目と前期または後期のみ開講する授業科目についても、曜日・時限が同一であれば、どちらかの授業科目しか登録できません。

## 6 試験の重複

履修登録しようとする授業科目が定期試験の同じ期日・時限で重複しないよう、試験時間割(別途配布)をよく見て登録してください。授業科目の開講曜日・時限が異なっても試験が重複している科目はいずれか1つしか登録できません。

## 7 履修登録上の注意

- ① 履修登録を行う日程は学部・学科・学籍年台により異なります。  
詳しくは巻末の「履修登録の手引き」p. 2を参照してください。
- ② 履修登録の日時や期限は厳守してください。後述する「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。
- ③ 履修登録の方法については、学修ガイド「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。
- ④ 登録が正しく行われていない場合、卒業や進級ができなくなる場合も考えられます。必ず「**授業科目確認表**」を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。
- ⑤ 集中講義で開講される科目や商学部第二部で受講する教職課程科目等も履修登録が必要です。
- ⑥ 教職課程科目・博物館学芸員課程科目・社会教育主事課程科目を登録する場合は、学部の授業科目と重複しないよう授業時間割および定期試験時間割上で確認してください。

☺ 『履修登録の手引』の中にある「履修登録用紙(下書き用)」および「Webプロフィール(下書き用)」について必ず事前に記入して履修登録を行ってください。シラバスを事前に参照することも可能です。

## 8 履修登録の流れ

年度始めに皆さんが行う履修登録作業は概ね次のとおりです。学部によっては、この他にも必要なことがありますので、学修ガイドや配付物、掲示物等を確認してください。

### ☞ 事前に確認すること

<p><b>1. 1年間に登録できる単位数の上限</b>          ○学部、学科、年次などにより、1年間に登録できる単位数が異なります。          ○ただし、教職課程等の課程科目を登録するときの単位数は、上限の単位数に含みません。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「学科履修規程」          (p. 168～173参照)</p>
<p><b>2. 卒業（進級）要件単位数</b>          ○学部、学科、年次などにより、卒業に必要な単位数が異なります。また、理系学部では上位年次への進級に必要な単位数が決められている場合があります。          ○卒業（進級）要件単位数を考慮して履修計画を立ててください。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「学科履修規程」          (p. 110～111参照)</p>
<p><b>3. クラス</b>          ○クラス指定がある授業科目は、自分のクラスで登録を行う必要があります。あらかじめ自分のクラスを確認してください。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「学科基本クラス分け一覧」          (p. 41～43参照)</p>



### ☞ 登録科目の選択

<p><b>4. 登録することができる科目</b>          ○「年次別授業科目表」を開き、自分が登録することができる科目を把握してください。2年次生以上の場合、既に単位を修得した科目は登録できません。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「学科履修規程（年次別授業科目表）」          (p. 148～167参照)</p>
<p><b>5. 上位年次に開講される授業科目は登録できない</b>          ○例えば、1年次生は1年次設置科目のみ、2年次生は1・2年次に開講される科目が登録できます。</p>	
<p><b>6. 必修科目、選択必修科目を優先して登録</b>          ○総合教養科目はできるだけ下位年次で履修するようにしてください。</p>	
<p><b>7. シラバスを参考に</b>          ○シラバスには、各授業科目の概要や評価基準および方法、授業計画等が掲載されています。また、スタートアップ授業を実施する科目については、授業動画を視聴することもできます。よく読んで、登録する科目を決めてください。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「シラバス」          (p. 34～35参照)</p>
<p><b>8. 定期試験の時間割が重複していないか</b>          ○受講が可能であっても、試験日時が重複していれば登録できません。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「試験時間割」          (別途配布)</p>
<p><b>9. 登録制限科目を登録する場合</b>          ○科目によっては登録人数を制限するものがあります。「履修の手引」などの指示に従って事前に登録手続きを行ってください。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「履修の手引」          (p. 48～58、p. 77～78)</p>
<p><b>10. 授業時間割への記入</b>          ○登録しようとする授業科目にマーカーなどで印を付けてください。</p>	



<p><b>11. 下書き用紙への記入</b>          ○学修ガイド「履修登録の手引」に入っている「履修登録用紙（下書き用）」に登録する授業科目を記入してください。          ○また、同じく「Webプロフィール（下書き用）」に必要事項を記入してください。（履修登録の際、同時に入力します。）          ※履修登録を効率的に行うために、必ず下書きした用紙を履修登録当日に参照しながら履修登録を行ってください。</p>	<p>☞ 学修ガイド          「履修登録の手引」</p>
--	---------------------------------------





履修登録

<p><b>12. 履修登録</b>                  ○履修登録の操作方法等は学修ガイド「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。                  ○登録作業が済んだら、必ず「授業科目確認表」を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。</p>	<p>学修ガイド 「履修登録の手引」</p>
<p><b>13. 履修登録の日程</b>                  ○履修登録を行う日程等は学部・学科・学籍年台により異なります。                  ○履修登録の日時や期限は厳守してください。「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。</p>	<p>学修ガイド 「履修登録の手引」 「履修登録等の日程」 (p. 44～45参照)</p>



前期授業の開始

<p><b>14. 授業教室割の通知</b>                  ○開講日までにFUポータル「時間割表(教室割)照会」で、授業教室をお知らせしますので、あらかじめ確認して登学してください。                  ○理・工・医・薬・スポーツ科学部で開講する科目については、掲示等で教室をお知らせする場合があります。</p>
<p><b>15. FUプラスアップ授業の視聴</b>                  ○各科目のシラバス内の「授業計画」で「FUプラスアップ授業」の種類を確認してください。                  ○「スタートアップ授業」の場合、第1週の授業までにシラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を視聴してください。                  ※後期開講科目については、8月下旬～後期第1回授業までに授業動画を視聴してください。                  ○「中間フォローアップ授業」の場合、授業期間中に教員の指示に従い、授業動画を視聴してください。</p>

## 9 前期成績発表と後期開講科目の登録変更

1年間に履修する科目については、あらかじめ前期授業開始前に通年、前・後期完結科目を全て登録しますが、後期の科目については、前期の成績を確認して、既に登録している履修科目を変更(削除・追加)することができます。前期成績発表および後期開講科目の登録変更日程については、p. 44～45「履修登録等の日程」を参照してください。

●注意

通年開講科目については登録を変更することができません。また、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、登録変更をすることができない場合があります。

なお、変更にあたっては、1年間あるいは前期・後期に履修することができる単位数(登録上限単位)の範囲内であることが必要です。

## 10 履修登録の撤回

「履修登録した授業の内容が想定したものと違っていた」「このまま履修を続けるより他の科目に集中して取り組みたい」などと判断した場合、その学期の開講から3週間以内に申し出れば、前後期それぞれ2科目以内かつ8単位以内に限り履修登録を撤回(削除)できます。撤回した科目の単位数は当該年度の履修登録単位数から除外されます。ただし、撤回した科目の代わりに他の科目を追加登録することはできません。

むやみに撤回すると卒業や進級に必要な単位数が不足する可能性もあるため、慎重な対応が必要です。

なお、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、撤回することができない場合があります。また、後期については、通年開講科目を撤回することはできません。さらに後期開講の集中講義科目のうち、夏季休業中に開講されるものは、前期の撤回期間中のみ撤回することができます。(夏季休業中に開講される後期集中講義科目は、講義開始後に撤回することはできません。)

履修登録撤回の手続き・日程等については p. 44～45「履修登録等の日程」を参照してください。

# 11 学科基本クラス分け一覧

## 2023年度入学生 (23台)

学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 230001～L C 230050
	2	L C 230051～L C 230100
L H	1	L H 230301～L H 230335
	2	L H 230336～L H 230370
L J	1	L J 230501～L J 230536
	2	L J 230537～L J 230571
L P	1	L P 231501～L P 231562
	2	L P 231563～L P 231623
L E	1	L E 230701～L E 230746
	2	L E 230747～L E 230791
L G	1	L G 全員
L F	1	L F 全員
L A	1	L A 231301～L A 231332
	2	L A 231333～L A 231364
J J	1	J J 230001～J J 230044
	2	J J 230045～J J 230088
	3	J J 230089～J J 230132
	4	J J 230133～J J 230175
	5	J J 230176～J J 230218
	6	J J 230219～J J 230261
	7	J J 230262～J J 230304
	8	J J 230305～J J 230347
	9	J J 230348～J J 230390
	10	J J 230391～J J 230433
J B	1	J B 232001～J B 232044
	2	J B 232045～J B 232088
	3	J B 232089～J B 232132
	4	J B 232133～J B 232175
	5	J B 232176～J B 232218
E E	1	E E 230001～E E 230040
	2	E E 230041～E E 230080
	3	E E 230081～E E 230120
	4	E E 230121～E E 230160
	5	E E 230161～E E 230200
	6	E E 230201～E E 230240
	7	E E 230241～E E 230280
	8	E E 230281～E E 230320
	9	E E 230321～E E 230360
	10	E E 230361～E E 230400
	11	E E 230401～E E 230440
	12	E E 230441～E E 230479
E I	1	E I 232001～E I 232052
	2	E I 232053～E I 232104
	3	E I 232105～E I 232156
	4	E I 232157～E I 232207
C C	1	C C 230001～C C 230044
	2	C C 230045～C C 230087
	3	C C 230088～C C 230130
	4	C C 230131～C C 230173
	5	C C 230174～C C 230216
	6	C C 230217～C C 230259

※2024年度入学生 (24台) については履修登録関係書類として配付します。

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 231001～C B 231041
	2	C B 231042～C B 231082
	3	C B 231083～C B 231123
	4	C B 231124～C B 231164
	5	C B 231165～C B 231205
	6	C B 231206～C B 231245
C F	1	C F 232001～C F 232045
	2	C F 232046～C F 232090
	3	C F 232091～C F 232135
	4	C F 232136～C F 232179
B B	1	B B 230001～B B 230027
	2	B B 230028～B B 230053
	3	B B 230054～B B 230079
	4	B B 230080～B B 230105
	5	B B 230106～B B 230131
	6	B B 230132～B B 230157
S M	1	S M 230001～S M 230033
	2	S M 230034～S M 230047 S M 231001～S M 231019
S P	1	S P 230201～S P 230226
	2	S P 230227～S P 230247 S P 231201～S P 231205
S C	1	S C 230401～S C 230433
	2	S C 230434～S C 230458
		S C 231401～S C 231407
S E	1	S E 230601～S E 230637
	2	S E 230638～S E 230674
T M	1	T M 230001～T M 230056
	2	T M 230057～T M 230112
T E	1	T E 230301～T E 230359
	2	T E 230360～T E 230417
T L	1	T L 231201～T L 231238
	2	T L 231239～T L 231275
	3	T L 231276～T L 231312
	4	T L 231313～T L 231349
T K	1	T K 231501～T K 231550
	2	T K 231551～T K 231599
T C	1	T C 230601～T C 230657
	2	T C 230658～T C 230714
T A	1	T A 230901～T A 230955
	2	T A 230956～T A 231009
M M	1	M M 230001～M M 230055
	2	M M 230056～M M 230110
M N	1	M N 232001～M N 232055
	2	M N 232056～M N 232110
P P	1	P P 230001～P P 230041
	2	P P 230042～P P 230082
	3	P P 230083～P P 230123
	4	P P 230124～P P 230164
	5	P P 230165～P P 230205
	6	P P 230206～P P 230245
G S	1	G S 230001～G S 230039
	2	G S 230040～G S 230078
	3	G S 230079～G S 230117
	4	G S 230118～G S 230156
	5	G S 230157～G S 230194
	6	G S 230195～G S 230232
G H	1	G H 230301～G H 230338
	2	G H 230339～G H 230375

2022年度入学生 (22台)

学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 220001～L C 220050
	2	L C 220051～L C 220103
L H	1	L H 220301～L H 220335
	2	L H 220336～L H 220371
L J	1	L J 220501～L J 220536
	2	L J 220537～L J 220572
L P	1	L P 221501～L P 221555
	2	L P 221556～L P 221610
L E	1	L E 220701～L E 220746
	2	L E 220747～L E 220791
L G	1	L G 220901～L G 220951
L F	1	L F 221101～L F 221148
L A	1	L A 221301～L A 221335
	2	L A 221336～L A 221370
J J	1	J J 220001～J J 220043
	2	J J 220044～J J 220086
	3	J J 220087～J J 220129
	4	J J 220130～J J 220172
	5	J J 220173～J J 220215
	6	J J 220216～J J 220258
	7	J J 220259～J J 220301
	8	J J 220302～J J 220344
	9	J J 220345～J J 220387
	10	J J 220388～J J 220429
J B	1	J B 222001～J B 222041
	2	J B 222042～J B 222081
	3	J B 222082～J B 222121
	4	J B 222122～J B 222161
	5	J B 222162～J B 222201
E E	1	E E 220001～E E 220039
	2	E E 220040～E E 220078
	3	E E 220079～E E 220117
	4	E E 220118～E E 220155
	5	E E 220156～E E 220193
	6	E E 220194～E E 220231
	7	E E 220232～E E 220269
	8	E E 220270～E E 220307
	9	E E 220308～E E 220345
	10	E E 220346～E E 220383
	11	E E 220384～E E 220421
	12	E E 220422～E E 220460
E I	1	E I 222001～E I 222051
	2	E I 222052～E I 222102
	3	E I 222103～E I 222153
	4	E I 222154～E I 222207
C C	1	C C 220001～C C 220042
	2	C C 220043～C C 220084
	3	C C 220085～C C 220126
	4	C C 220127～C C 220168
	5	C C 220169～C C 220209
	6	C C 220210～C C 220252

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 221001～C B 221042
	2	C B 221043～C B 221084
	3	C B 221085～C B 221126
	4	C B 221127～C B 221168
	5	C B 221169～C B 221210
	6	C B 221211～C B 221254
C F	1	C F 222001～C F 222047
	2	C F 222048～C F 222093
	3	C F 222094～C F 222139
	4	C F 222140～C F 222186
B B	1	B B 220001～B B 220028
	2	B B 220029～B B 220055
	3	B B 220056～B B 220082
	4	B B 220083～B B 220109
	5	B B 220110～B B 220136
	6	B B 220137～B B 220165
S M	1	S M 220001～S M 220033
	2	S M 220034～S M 220048 S M 221001～S M 221020
S P	1	S P 220201～S P 220228
	2	S P 220229～S P 220247 S P 221201～S P 221209
S C	1	S C 220401～S C 220433
	2	S C 220434～S C 220455 S C 221401～S C 221410
S E	1	S E 220601～S E 220631
	2	S E 220632～S E 220661
T M	1	T M 220001～T M 220055
	2	T M 220056～T M 220111
T E	1	T E 220301～T E 220353
	2	T E 220354～T E 220406
T L	1	T L 221201～T L 221238
	2	T L 221239～T L 221276
	3	T L 221277～T L 221314
	4	T L 221315～T L 221353
T K	1	T K 221501～T K 221552
	2	T K 221553～T K 221604
T C	1	T C 220601～T C 220649
	2	T C 220650～T C 220698
T A	1	T A 220901～T A 220959
	2	T A 220960～T A 221020
M M	1	M M 220001～M M 220055
	2	M M 220056～M M 220110
M N	1	M N 222001～M N 222053
	2	M N 222054～M N 222105
P P	1	P P 220001～P P 220040
	2	P P 220041～P P 220079
	3	P P 220080～P P 220118
	4	P P 220119～P P 220157
	5	P P 220158～P P 220196
	6	P P 220197～P P 220235
G S	1	G S 220001～G S 220038
	2	G S 220039～G S 220076
	3	G S 220077～G S 220114
	4	G S 220115～G S 220151
	5	G S 220152～G S 220188
	6	G S 220189～G S 220225
G H	1	G H 220301～G H 220337
	2	G H 220338～G H 220375

## 2021年度入学生 (21台)

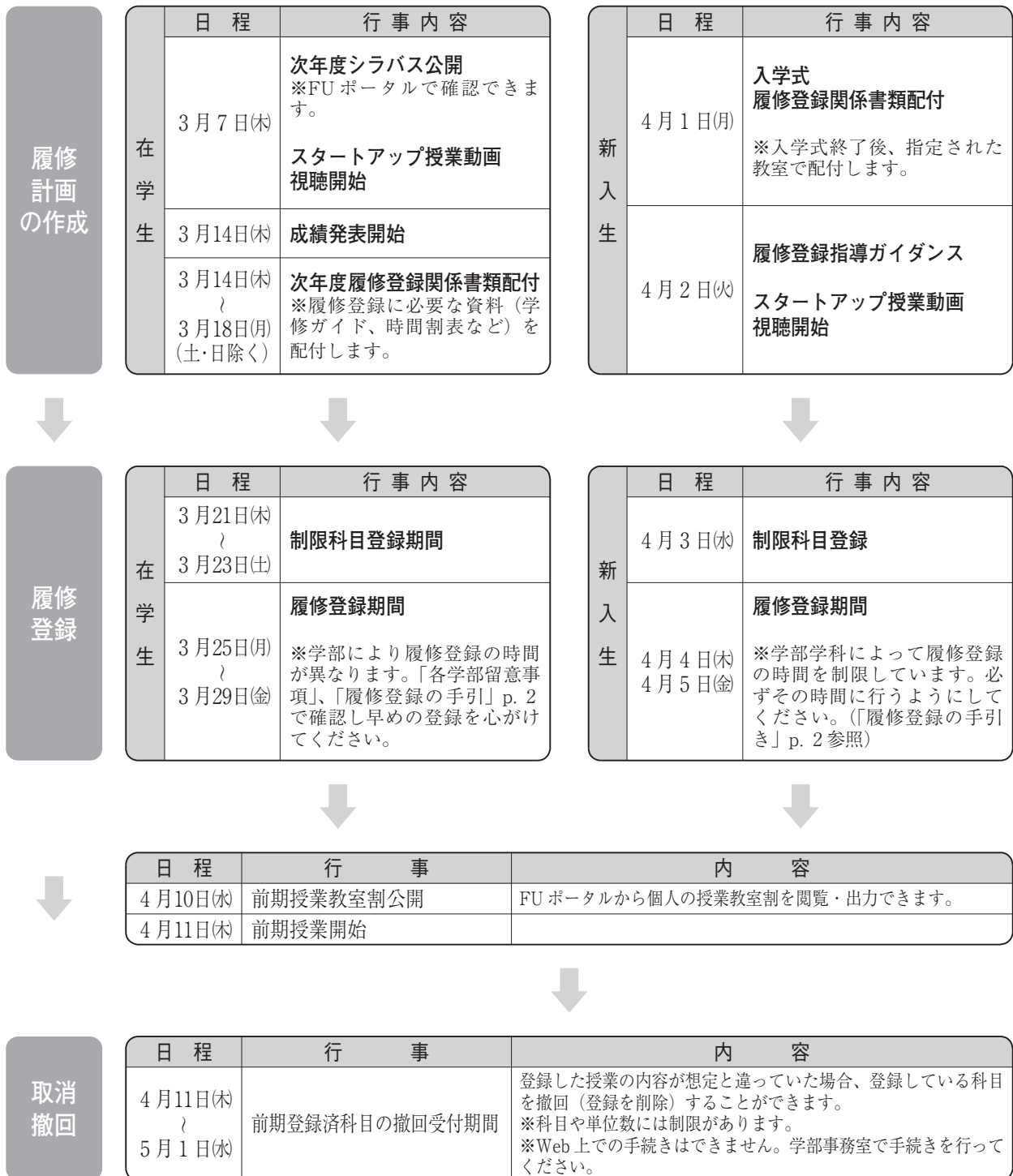
学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 210001～L C 210049
	2	L C 210050～L C 210098
L H	1	L H 210301～L H 210333
	2	L H 210334～L H 210368
L J	1	L J 210501～L J 210535
	2	L J 210536～L J 210569
L P	1	L P 211501～L P 211567
	2	L P 211568～L P 211633
L E	1	L E 210701～L E 210744
	2	L E 210745～L E 210789
L G	1	L G 210901～L G 210948
L F	1	L F 211101～L F 211149
L A	1	L A 211301～L A 211331
	2	L A 211332～L A 211364
J J	1	J J 210001～J J 210041
	2	J J 210042～J J 210082
	3	J J 210083～J J 210123
	4	J J 210124～J J 210164
	5	J J 210165～J J 210205
	6	J J 210206～J J 210246
	7	J J 210247～J J 210287
	8	J J 210288～J J 210328
	9	J J 210329～J J 210368
	10	J J 210369～J J 210410
J B	1	J B 212001～J B 212039
	2	J B 212040～J B 212077
	3	J B 212078～J B 212115
	4	J B 212116～J B 212153
	5	J B 212154～J B 212191
E E	1	E E 210001～E E 210038
	2	E E 210039～E E 210076
	3	E E 210077～E E 210114
	4	E E 210115～E E 210152
	5	E E 210153～E E 210190
	6	E E 210191～E E 210227
	7	E E 210228～E E 210264
	8	E E 210265～E E 210301
	9	E E 210302～E E 210338
	10	E E 210339～E E 210375
	11	E E 210376～E E 210412
	12	E E 210413～E E 210450
E I	1	E I 212001～E I 212049
	2	E I 212050～E I 212098
	3	E I 212099～E I 212147
	4	E I 212148～E I 212203
C C	1	C C 210001～C C 210039
	2	C C 210040～C C 210078
	3	C C 210079～C C 210117
	4	C C 210118～C C 210156
	5	C C 210157～C C 210195
	6	C C 210196～C C 210242

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 211001～C B 211039
	2	C B 211040～C B 211078
	3	C B 211079～C B 211117
	4	C B 211118～C B 211156
	5	C B 211157～C B 211194
	6	C B 211195～C B 211234
C F	1	C F 212001～C F 212047
	2	C F 212048～C F 212094
	3	C F 212095～C F 212140
	4	C F 212141～C F 212186
B B	1	B B 210001～B B 210027
	2	B B 210028～B B 210053
	3	B B 210054～B B 210079
	4	B B 210080～B B 210105
	5	B B 210106～B B 210131
	6	B B 210132～B B 210160
S M	1	S M 210001～S M 210033
	2	S M 210034～S M 210049 S M 211001～S M 211017
S P	1	S P 210201～S P 210226
	2	S P 210227～S P 210244 S P 211201～S P 211208
S C	1	S C 210401～S C 210430
	2	S C 210431～S C 210454 S C 211401～S C 211406
		S E 210601～S E 210629
S E	2	S E 210630～S E 210657
	T M	1
2		T M 210058～T M 210114
T E	1	T E 210301～T E 210355
	2	T E 210356～T E 210409
T L	1	T L 211201～T L 211237
	2	T L 211238～T L 211274
	3	T L 211275～T L 211310
	4	T L 211311～T L 211346
T K	1	T K 211501～T K 211548
	2	T K 211549～T K 211596
T C	1	T C 210601～T C 210662
	2	T C 210663～T C 210724
T A	1	T A 210901～T A 210953
	2	T A 210954～T A 211007
M M	1	M M 210001～M M 210055
	2	M M 210056～M M 210110
M N	1	M N 212001～M N 212053
	2	M N 212054～M N 212106
P P	1	P P 210001～P P 210038
	2	P P 210039～P P 210076
	3	P P 210077～P P 210114
	4	P P 210115～P P 210152
	5	P P 210153～P P 210189
	6	P P 210190～P P 210226
G S	1	G S 210001～G S 210040
	2	G S 210041～G S 210080
	3	G S 210081～G S 210119
	4	G S 210120～G S 210158
	5	G S 210159～G S 210197
	6	G S 210198～G S 210236
G H	1	G H 210301～G H 210337
	2	G H 210338～G H 210373

# 履修登録等の日程

シラバスや履修登録関係書類で事前に履修計画を立てられます。また、巻末の『履修登録の手引(p. 3)』の「履修登録用紙(下書き用)」を事前に記入し、履修登録に臨んでください。

## 1 履修登録スケジュール



前期 成績 発表	日 程	行 事	内 容
	9月2日(月) )	前期成績発表開始	FUポータルにて各自参照 ※成績評価に疑問がある場合には、学部事務室を窓口として、科目担当者に問合せることができる制度を設けています。なお、受付期間は、成績発表から3日間となっています。詳細については、FUポータル等よりお知らせします。
後期開 講科目 の登録 変更	日 程	行 事	内 容
	9月4日(水)12時 ) 9月6日(金)16時	後期開講科目の登録変更	FUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「Web履修登録」にて申請。
	日 程	行 事	内 容
	9月13日(金) 9月16日(月)	後期授業教室割公開 後期授業開始	FUポータルから個人の授業教室割を閲覧・出力できます。
取消 撤回	日 程	行 事	内 容
	9月16日(月) ) 10月7日(月)	後期登録済科目の撤回受付期間	登録した授業の内容が想定と違っていた場合、登録している科目を撤回（登録を削除）することができます。 ※科目や単位数には制限があります。 ※Web上での手続きはできません。学部事務室で手続きを行ってください。

# 全学部共通留意事項

学部別、分野毎に、設置科目および開講科目が決められています。

設置科目とは、学則の教育課程に設置している科目であり、開講科目とは、その年度に開講される科目のことです。学部によっては、年度により開講しない科目がありますので、学修ガイドを参照し、学科履修規程を正しく理解し、履修していく必要があります。

## 1 共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更について

総合教養科目・外国語科目・保健体育科目における履修登録の撤回と後期開講科目の登録変更は、下表のように取り扱います。「○」印は可能、「×」印は不可を示しています。

	授業科目の区分、学部、年次、科目名等		登録撤回 (p. 40参照)		登録変更 (p. 40参照)	
			前期	後期	追加	削除
総合教養科目	登録制限科目 (注1参照)	登録制限科目①	○	○	×	○
		登録制限科目②(注2参照)	×	×	○	×
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	×	×	×	×
	それ以外の科目(注3参照)		○	○	○	○
外国語科目	アドバンスト・イングリッシュⅡ ※所定の登録人数に達しない場合に限る(注4参照)		×	×	○	×
	それ以外の科目 ※学部留学生対象の日本語を含む		×	×	×	×
保健体育科目 (注5参照)	選択科目	生涯スポーツ演習Ⅱ、生涯スポーツ演習Ⅲ、 生涯スポーツ演習Ⅳ、生涯スポーツ論	○	○	○	○
	必修科目 ※商学部第二部 を除く学部	1年次生(24台) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ演習Ⅱ	×	×	×	×
		2年次生以上(23台以前) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ演習Ⅱ、 生涯スポーツ演習Ⅲ、生涯スポーツ演習Ⅳ、 生涯スポーツ論	×	×	○	○
	必修科目 ※商学部第二部	1年次生(24台) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論	×	×	×	×
2年次生以上(23台以前) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論		×	×	○	○	

(注1) 登録制限科目の種類や対象科目等は、p. 47の「2登録制限科目について」を参照してください。

(注2) 登録制限科目②の科目(p. 51～52の表3、およびp. 53～54の表4を参照)の中で、定員に達していない後期開講科目に限り、登録変更期間に定員の範囲内で「先着順」による追加募集を行います。詳細は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加募集で登録が許可された科目も、履修登録の撤回はできません。

(注3) 登録変更期間は登録定員を300人とし、「先着順」による登録制限を行います。前期に登録完了した科目でも、登録エラーの状態のままであれば、エラーを解消するまでの間に当該科目が満員となり登録できなくなることがあります。登録変更時はエラーにならないよう気をつけてください。

(注4) 追加登録を行う場合は、登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。

(注5) 保健体育科目は、学科基本クラスや履修年次等によってあらかじめ時間割が指定されており、指定外の時間割は履修登録できません(p. 59の「3保健体育科目について」を参照)。

## 2 総合教養科目関係

### 1 授業科目の学部・学科等指定について

総合教養科目には、1クラス当たりの登録者数を適正な規模にするため、履修登録を認める学部・学科・学科基本クラスをあらかじめ指定する授業科目があります。これらの科目は指定以外の学部・学科等の学生は登録できませんので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

### 2 登録制限科目について

総合教養科目には、あらかじめ登録者数を制限する授業科目（登録制限科目）があります。登録制限科目は制限理由により、以下の2種類に分かれます。履修希望者は各科目の注意事項および要領等に従い、「履修登録の手引」p.12～13を参照のうえ、申し込んでください。

登録制限科目①…登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目  
登録制限科目②…ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目

#### 2-1 登録制限科目①（登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目）

対象学生の年次により、登録者の選考方法が異なります。

##### 【対象学生：2年次生以上】

2年次生以上は「抽選」で登録者を決定します。表1（p.48）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から申し込んでください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合はその科目を削除してください。

表1の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。



表1 【対象学生：2年次生以上】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間および結果発表
1	倫理学A	中村 未来	前期	木	2	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 14:00~ 3月22日(金) 18:00  結果発表 3月23日(土) 18:00
2	倫理学A	広川 明	前期	火	3	150		
3	倫理学A	広川 明	前期	火	4	150		
4	倫理学B	中村 未来	後期	木	2	150		
5	倫理学B	広川 明	後期	月	4	150		
6	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	2	150		
7	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	3	150		
8	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	2	150		
9	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	3	150		
10	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	3	150		
11	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	4	150		
12	宗教学B	岸根 敏幸	後期	月	2	150		
13	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	3	150		
14	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	4	150		
15	日本史A	松木 俊暁	前期	水	4	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 15:00~ 3月22日(金) 18:00  結果発表 3月23日(土) 18:00
16	東洋史A	久芳 崇	前期	月	4	150		
17	日本文学B	須藤 圭	後期	金	2	150		
18	芸術A	浦上 雅司	前期	火	2	150		
19	芸術A	落合 桃子	前期	木	4	150		
20	芸術A	川浪 千鶴	前期	金	4	150		
21	芸術B	浦上 雅司	後期	火	2	150		
22	芸術B	落合 桃子	後期	木	4	150		
23	日本国憲法	守谷 賢輔	後期	金	2	150		
24	日本国憲法	守谷 賢輔	前期	金	2	150		
25	政治学A	東原 正明	前期	木	3	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 16:00~ 3月22日(金) 18:00  結果発表 3月23日(土) 18:00
26	経済学A	主計 浩	前期	水	3	150		
27	社会学A	井手 靖子	前期	木	2	150		
28	社会学A	高岡 弘幸	前期	月	3	150		
29	社会学A	花野 裕康	前期	金	3	150		
30	社会学B	井手 靖子	後期	木	2	150		
31	社会学B	花野 裕康	後期	金	3	150		
32	地理学A	藤村 健一	前期	木	4	150		
33	心理学A	佐藤 基治	前期	月	4	150		
34	心理学A	古川 善也	前期	水	3	150		
35	心理学A	古川 善也	前期	木	4	150		
36	地球圏科学入門	上原誠一郎	前期	月	2	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 17:00~ 3月22日(金) 18:00  結果発表 3月23日(土) 18:00
37	地球圏科学入門	赤木 右	前期	金	2	150		
38	新しい地球観	上原誠一郎	後期	月	2	150		
39	新しい地球観	田上 響	後期	火	2	150		
40	ミクロの生物科学	中川 裕之	前期	木	1	150		
41	ミクロの生物科学	中川 緑	前期	火	2	150		
42	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	1	150		
43	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	2	150		
44	自然科学入門	林 辰弥	前期	月	2	150		
45	自然科学入門	西園 幸久	前期	火	4	150		
46	自然科学入門	中川 緑	前期	木	3	150		
47	自然科学と人間	中川 緑	後期	木	3	150		

**【対象学生：1年次生】**

1年次生は「先着順」で登録者を決定します。表2（下記および次ページ）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。履修登録画面には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。なお、2年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を1年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

表2の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

**表2 【対象学生：1年次生】登録制限科目①**

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間および結果発表
1	倫理学A	中村 未来	前期	木	2	150	先着順	4月3月（水）12：00～23：59
2	倫理学A	広川 明	前期	火	3	150		
3	倫理学A	広川 明	前期	火	4	150		
4	倫理学B	中村 未来	後期	木	2	150		
5	倫理学B	広川 明	後期	月	4	150		
6	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	2	150		
7	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	3	150		
8	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	2	150		
9	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	3	150		
10	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	3	150		
11	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	4	150		
12	宗教学B	岸根 敏幸	後期	月	2	150		
13	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	3	150		
14	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	4	150		
15	日本史A	松木 俊暁	前期	水	4	150	先着順	4月3月（水）12：30～23：59
16	東洋史A	久芳 崇	前期	月	4	150		
17	日本文学B	須藤 圭	後期	金	2	150		
18	芸術A	浦上 雅司	前期	火	2	150		
19	芸術A	落合 桃子	前期	木	4	150		
20	芸術A	川浪 千鶴	前期	金	4	150		
21	芸術B	浦上 雅司	後期	火	2	150		
22	芸術B	落合 桃子	後期	木	4	150		
23	日本国憲法	守谷 賢輔	後期	金	2	150	先着順	4月3月（水）13：00～23：59
24	日本国憲法	守谷 賢輔	前期	金	2	150		
25	政治学A	東原 正明	前期	木	3	150		
26	経済学A	主計 浩	前期	水	3	150		
27	社会学A	井手 靖子	前期	木	2	150		
28	社会学A	高岡 弘幸	前期	月	3	150		
29	社会学A	花野 裕康	前期	金	3	150		
30	社会学B	井手 靖子	後期	木	2	150		
31	社会学B	花野 裕康	後期	金	3	150		
32	地理学A	藤村 健一	前期	木	4	150		
33	心理学A	佐藤 基治	前期	月	4	150		
34	心理学A	古川 善也	前期	水	3	150		
35	心理学A	古川 善也	前期	木	4	150		

次のページへ続く

表 2 【対象学生：1年次生】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	登録受付日時
36	地球圏科学入門	上原誠一郎	前期	月	2	150	先着順	4月3日(水) 13:30~23:59
37	地球圏科学入門	赤木 右	前期	金	2	150		
38	新しい地球観	上原誠一郎	後期	月	2	150		
39	新しい地球観	田上 響	後期	火	2	150		
40	ミクロの生物科学	中川 裕之	前期	木	1	150		
41	ミクロの生物科学	中川 緑	前期	火	2	150		
42	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	1	150		
43	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	2	150		
44	自然科学入門	林 辰弥	前期	月	2	150		
45	自然科学入門	西園 幸久	前期	火	4	150		
46	自然科学入門	中川 緑	前期	木	3	150		
47	自然科学と人間	中川 緑	後期	木	3	150		

## 2 - 2 登録制限科目②

(ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目)

対象科目の種類や対象学生の年次により登録者の選考方法が異なりますので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直しエラーがない状態にしてください。

**【対象科目：教養ゼミを除く科目】**

「先着順」で登録者を決定します。表3の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

### ●表3の科目に関する注意事項

- ①「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。
- ②表3の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表3 授業形態に合わせて登録者数を制限する科目（教養ゼミの科目を除く）

No.	科目名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
1	哲学A	大西 克智	前期	木	2	80	全学年	<p>●【2年次生以上】 先着順 3月21日(木)12:00~ 3月23日(土)23:59</p> <p>●【1年次生】 先着順 4月3日(水) 9:30~23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木)9:00~</p> <p>(1年次生のみを対象に先着順で追加募集を実施)</p>
2	哲学A	大西 克智	前期	木	3	80	全学年	
3	哲学B	大西 克智	後期	木	2	80	全学年	
4	哲学B	大西 克智	後期	木	3	80	全学年	
5	論理学A	林 誓雄	前期	火	4	150	全学年	
6	論理学A	林 誓雄	前期	水	2	150	全学年	
7	論理学A	林 誓雄	前期	金	3	150	全学年	
8	論理学A	林 誓雄	前期	金	2	150	全学年	
9	論理学B	林 誓雄	後期	火	4	150	全学年	
10	論理学B	林 誓雄	後期	水	2	150	全学年	
11	論理学B	林 誓雄	後期	金	3	150	全学年	
12	論理学B	林 誓雄	後期	金	2	150	全学年	
13	宗教学B	飯嶋 秀治	後期	木	1	100	全学年	
14	人文地理学	近藤 祐磨	後期	火	1	200	全学年	
15	アジアの文学A	間 ふさ子	前期	金	1	60	全学年	
16	アジアの文学A	何 憶鶴	前期	水	1	80	全学年	
17	アジアの文学B	何 憶鶴	後期	水	1	80	全学年	
18	経済学A	楊 光洙	前期	火	4	40	全学年	
19	経済学A	楊 光洙	前期	火	5	40	全学年	
20	経済学B	楊 光洙	後期	火	4	40	全学年	
21	経済学B	楊 光洙	後期	火	5	40	全学年	
22	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	2	200	全学年	
23	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	4	200	全学年	
24	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	3	200	全学年	
25	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	5	200	全学年	
26	心理学A	大上 渉	前期	火	3	200	全学年	
27	心理学A	大上 渉	前期	火	4	200	全学年	

次のページへ続く

表3 授業形態に合わせて登録者数を制限する科目（教養ゼミの科目を除く）

No.	科目名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
28	心理学 B	大上 渉	後期	火	3	200	全学年	<p>●【2年次生以上】 先着順 3月21日(木)12:00～ 3月23日(土)23:59</p> <p>●【1年次生】 先着順 4月3日(水) 9:30～23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木)9:00～</p> <p>(1年次生のみを対象に先着順で追加募集を実施)</p>
29	心理学 B	大上 渉	後期	火	4	200	全学年	
30	地誌学	近藤 祐磨	前期	月	二部2	200	商二部全学年	
31	福岡大学で考える現代社会	岩山 隆寛	前期	木	5	100	24～23台のみ	
32	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	2	24	24～23台のみ	
33	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	3	24	24～23台のみ	
34	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	前期	金	2	24	24～23台のみ	
35	福岡大学で考える現代社会	飛田 努	後期	金	2	100	24～23台のみ	
36	福岡大学で考える現代社会	橋場 論	前期	水	5	40	24～23台のみ	
37	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	後期	月	5	40	24～23台のみ	
38	福岡大学で考える現代社会	熊丸 憲男	後期	火	4	12	24～23台のみ(文系)	
39	福岡大学で考える現代社会	熊丸 憲男	後期	火	4	13	24～23台のみ(理系)	
40	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	1	200	24台のみ	
41	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	2	200	24台のみ	
42	アカデミックスキルズゼミ I	紺田 広明	前期	火	5	40	24～23台のみ	
43	アカデミックスキルズゼミ I	道山 治延	前期	木	1	36	24～23台のみ	
44	アカデミックスキルズゼミ II	吉田 秀幸	後期	木	1	48	24～23台のみ	
45	アカデミックスキルズゼミ II	鈴木 学	後期	火	5	50	24～23台のみ	
46	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3	50	24台のみ	
47	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2	50	24台のみ	

【対象科目：教養ゼミの科目】

対象学生：2年次生以上

2年次生以上は「抽選」で登録者を決定します。表4（p.53～54）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から申し込んでください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合はその科目を削除してください。

対象学生：1年次生

1年次生は「先着順」で登録者を決定します。表4（p.53～54）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から登録してください。なお、2年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を1年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

●表4の科目に関する注意事項

- ①「教養ゼミ」の科目は前期1科目、後期1科目、前期と後期の合計で2科目までしか登録できません。前期または後期に2科目以上登録しようとする、登録エラーになります。
- ②「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。
- ③「教養ゼミ」の科目は定期試験を実施しない授業科目であるため、再試験は実施しません。
- ④表4の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業時間割との重複等に十分に注意して申請してください。

表4 「教養ゼミ」の科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	備考	選考方法および登録受付日時
1	哲学A (哲学入門)	竹花 洋佑	前期	水	2	15		<p>【2年次生以上】 …抽選 ●申込期間 3月21日(木) 12:00～23:59</p> <p>●結果発表 3月22日(金) 16:00</p> <p>●登録定員に達しない場合 3月25日(月) 12:00～ 先着順で追加募集を実施</p> <p>【1年次生】 …先着順 ●登録期間 4月3日(水) 9:30～23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木) 12:00～ 先着順で追加募集を実施</p>
2	哲学B (政治哲学入門)	竹花 洋佑	後期	火	4	15		
3	倫理学A (中国古典に見る人間観)	中村 未来	前期	火	4	16		
4	倫理学B (無為自然を説く道家の世界)	中村 未来	後期	水	2	16		
5	宗教学A (生の教説①)	小笠原史樹	前期	金	5	15		
6	宗教学B (生の教説②)	小笠原史樹	後期	金	5	15		
7	日本史A (日本近代史を学び憲法改正問題を考える)	梶原 良則	前期	月	3	15	登録対象: 24台のみ	
8	日本史B (沖縄の歴史を学び基地問題を考える)	梶原 良則	後期	月	3	15	登録対象: 24台のみ	
9	東洋史A (現代中国・アジアについて語る)	山根 直生	前期	木	3	15		
10	東洋史B (現代中国・アジアについて語り、議論する)	山根 直生	後期	木	3	15		
11	西洋史A (疫病の歴史を考える)	渡邊 裕一	前期	火	4	16		
12	西洋史B (「私たち」から見る日米関係史)	森 丈夫	後期	水	2	20		
13	日本文学A (近現代文学の精読と分析)	畑中 佳恵	前期	火	2	20	登録対象: 24台のみ	
14	日本文学B (ミャークフツ入門)	衣畑 智秀	後期	月	3	30		
15	日本文学A (『徒然草』輪読)	大坪 亮介	前期	木	3	20		

次のページへ続く

表4 「教養ゼミ」の科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	登録 定員	備考	選考方法および 登録受付日時
16	日本文学B (日本近現代の短編小説を読む)	永井 太郎	後期	水	4	15		<b>【2年次生以上】</b> …抽選 ●申込期間 3月21日(木) 12:00~23:59 ●結果発表 3月22日(金) 16:00 ●登録定員に達 しない場合 3月25日(月) 12:00~ 先着順で追加 募集を実施 <b>【1年次生】</b> …先着順 ●登録期間 4月3日(水) 9:30~23:59 ●登録定員に達 しない場合 4月4日(木) 12:00~ 先着順で追加 募集を実施
17	西洋文学A (Speculative Japan 2)	クロス テイモシー	前期	月	4	16	授業は 英語で実施	
18	西洋文学B (Speculative Japan 3)	クロス テイモシー	後期	月	4	16	授業は 英語で実施	
19	経済学A (社会科学の基礎を学ぶ)	武井 敬亮	前期	金	2	15		
20	経済学B (アダム・スミス『道徳感情論』を読む)	武井 敬亮	後期	金	2	15		
21	教育論A (戦没学生の手記を読もう)	勝山 吉章	前期	木	2	15	登録対象: 24台のみ	
22	地理学A (現実世界の多様性を考えるI)	磯田 則彦	前期	水	3	15		
23	地理学B (現実世界の多様性を考えるII)	磯田 則彦	後期	水	3	15		
24	地理学A (地域の学術的探究I)	近藤 祐磨	前期	火	5	15		
25	地理学B (地域の学術的探究II)	近藤 祐磨	後期	火	4	15		
26	心理学A (犯罪者プロファイリングとは何か)	大上 渉	前期	水	4	14		
27	心理学B (「パワーハラスメントの理解と対策」)	大上 渉	後期	水	4	14		
28	心理学A (心の仕組みを学ぶ)	縄田 健悟	前期	木	3	15		
29	心理学B (心の働きを学ぶ)	縄田 健悟	後期	木	3	15		
30	文化人類学A (文化人類学の思考を学ぶ)	中村 亮	前期	月	2	15		
31	文化人類学B (身近な文化を調べ考える力を身に付ける)	宮岡真央子	後期	月	3	16		
32	物理科学入門 (ためして物理を理解する)	西 憲敬	前期	月	5	16		
33	生活と環境の化学 (衣食住の実験化学)	松原 公紀	後期	火	3	12		

### 3 総合系列科目について

総合系列科目は、現代の諸問題を考える科目です。授業はオムニバス（学部や専門分野の異なる複数の教員が授業を担当する）形式で行われます。

履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 47「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申し込んでください。

表 5 - 1 総合系列科目（22台以前）

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	地球環境 (資源循環と地球環境)	山本 俊浩	後期	水	5	有	
2	国際化と日本 (ヨーロッパを知る-その多様性と統一-)	辻部 大介	後期	月	5	有	
3	国際化と日本 (グローバルな平和論)	渡邊 裕一	後期	月	5	有	
4	国際化と日本 (東アジアと福岡)	三島 健司	後期	金	4	有	
5	国際化と日本 (Globalization of Japan)	鈴木 孝将	後期	金	5	有	
6	現代を生きる (災害から自分や家族を守る)	重松 幹二	後期	水	5	有	



表5-2 総合系列科目（23台以降）

科目名：「福岡大学で考える現代社会」

No.	サブタイトル	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	ものづくり体験から学ぶ企画・制作力	熊丸 憲男	後期	火	4	無	登録制限科目②
2	Innovation for a Sustainable Society (サステナビリティのためのイノベーション)	安井 英俊	前期	火	4	無	
3	貨幣の謎 - 新型コロナウイルスから解明する	山崎 好裕	後期	火	4	有	
4	皆で考える地球温暖化とカーボンニュートラル	岩山 隆寛	前期	木	5	無	登録制限科目②
5	大学生のための現代社会論	鈴木 学	後期	火	2	無	登録制限科目②
6	大学生のための政治経済論	鈴木 学	後期	火	3	無	登録制限科目②
7	「言葉の力」を身につける	須長 一幸	前期	金	2	無	登録制限科目②
8	多職種連携で支える人生100年時代	安元 佐和	前期	木	5	無	
9	アントレプレナーシップを学ぶ	飛田 努	後期	金	2	有	登録制限科目②
10	資源循環と地球環境	山本 俊浩	後期	水	5	有	
11	グローバルな平和論	渡邊 裕一	後期	月	5	有	
12	ヨーロッパを知る - その多様性と統一 -	辻部 大介	後期	月	5	有	
13	東アジアと福岡	三島 健司	後期	金	4	有	
14	Globalization of Japan	鈴木 孝将	後期	金	5	有	
15	災害から自分や家族を守る	重松 幹二	後期	水	5	有	
16	主体性・社会性・協働性を身につける	橋場 論	前期	水	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
17	主体性・社会性・協働性を身につける	須長 一幸	後期	月	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ

## 4 学修基盤科目について

学修基盤科目は、学問と向き合うための正しい姿勢や学問的技法、学ぶことの意義を理解するための科目です。なお、履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 47「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申し込んでください。

表 6 学修基盤科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	福大生のためのキャリアデザイン (大学生活を設計する)	植上 一希	前期	火	1	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
2	福大生のためのキャリアデザイン (大学生活を設計する)	植上 一希	前期	火	2	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
3	アカデミックスキルズゼミ I (読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	紺田 広明	前期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
4	アカデミックスキルズゼミ I (読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	道山 治延	前期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
5	アカデミックスキルズゼミ II (思考と発想のレッスン)	鈴木 学	後期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
6	アカデミックスキルズゼミ II (思考と発想のレッスン)	吉田 秀幸	後期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
7	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
8	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
9	データサイエンス・AI 入門	香野 淳	前期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
10	データサイエンス・AI 入門 BB	香野 淳	前期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
11	データサイエンス・AI 入門	香野 淳	後期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
12	データサイエンス・AI 入門 BB	香野 淳	後期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ

データサイエンス・AI 入門の詳細については、p. 58「学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について」を参照してください。

## 5. 履修登録の停止について

総合教養科目では、大学が定める登録者数の上限を超えた科目が発生した場合、履修登録の途中でであってもその科目の登録受付を停止することがあります。

登録停止となった科目については、FU ポータルのお知らせを確認してください。

## 学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について

## ●科目の概要

インターネットやニュースなどでよく見聞きするようになった「AI」とは何か知っていますか。現在、膨大なデータを収集して傾向などを分析し、社会やビジネスの課題解決につなげることを目指すデータサイエンスやAI（Artificial Intelligence：人工知能）の利活用が盛んになっています。これからはAIの時代とも言われ、文系・理系を問わず大学生のうちに、データサイエンス・AIの知識・技術を学び、素養（デジタル社会の読み・書き・そろばん）を身に付けておくことが求められています。

この科目は、データサイエンス・AIについて学び、そのリテラシー（適切に理解し、活用する力）を習得するための入門科目で、全学部の1年次生が履修できる共通教育科目として2022年度から新たに開講されています。e-Learningを活用し、オンデマンド型で学ぶことができるため、都合の良い時間に受講することができます（受講する曜日・時限は決まっておらず、自ら計画を立てて学んでいきます）。

科目の詳細については、シラバスを参照してください。

※文部科学省が推進する認定制度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に適合する内容となっています。

## ●身に付けることができる能力

- データサイエンス・AIの必要性を理解し、説明できるようになる
- 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる
- どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる
- データを読み、説明できるようになる
- Excelなどの汎用ソフトウェアを用いて典型的なデータを扱えるようになる
- データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる
- 数理・データサイエンス・AIについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける

## ●e-Learningを活用したオンライン学習の科目

本科目は、オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるオンデマンド型授業です。所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めていきます。

## ●学びを深めるサポート体制

オンラインまたは教室での対面（もしくはオンラインと対面のハイブリッド）で質問を受け付け、一緒に考える機会を設けます（質問会と称します）。他の受講生からの質問やそれに対する回答を直接聴くことができる場にもなりますので、積極的に参加してください。

## ●対象学生

全学部1年次生

## ●開講学期

前期と後期に開講

## ●履修登録方法

4月4日(木)～4月5日(金)のweb履修登録期間中に、履修登録画面最下部の「集中講義科目等を選択」ボタンから前期または後期いずれかの科目を選択して登録します。

※履修登録の「撤回」、「後期登録変更」はできませんのでご注意ください。

### 3 保健体育科目について

本学の保健体育科目は、生涯スポーツ演習と生涯スポーツ論より構成されています。前者は実技と理論による演習形式で、後者は講義形式で実施されます。

生涯スポーツ演習は、学生が様々なスポーツ活動の体験・学習を通して、その楽しさを知るとともに、心身の健康を回復・保持・増進し、学生生活を豊かにすることを目的としています。また、学生が生涯にわたるスポーツ活動の必要性を、健康・体力のみならず、生きがいという面からも理解し、その実践に必要な技能・知識・態度を身につけることも目的としています。

生涯スポーツ論は、学生が本学スポーツ科学部編集のテキスト(『大学生のスポーツと健康生活』)によって、健康の増進に寄与する科学的知識を学ぶとともに、スポーツ活動に関わる自然・人文・社会科学的な理解を深めることで、スポーツ活動を生涯にわたって「行う」「観る」「支える」「調べる」ようになることを目的としています。

こうした保健体育科目での学修を通して、学生が在学期間のみならず、生涯にわたって様々なスポーツ活動に親しみ、健康で充実した生活を送れるようになることを目指しています。

#### 1 登録手続等について

##### スポーツ科学部以外の学部

<p>生涯スポーツ演習Ⅰ (前期または後期) 生涯スポーツ演習Ⅱ (前期または後期)</p>	<p>1年次生(24台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください(但し、医学部医学科を除く)。</p> <p>2年次生以上(23台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>ただし、前・後期の火曜日2～4時限、前・後期の金曜日1時限、前・後期の金曜日3時限は再履修者は登録できません。</p> <p>[次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。] ※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。</p>
<p>生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期) ※理・薬学部のみ</p>	<p>授業時間割で決められた曜日・時限(理学部:火曜2限、薬学部:金曜4限)に登録してください。</p> <p>※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。</p>
<p>生涯スポーツ論 (前期または後期)</p>	<p>2年次生(23台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。生涯スポーツ論を必修科目としている人文学部、法学部、経済学部、商学部については、授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。なお、別科目の受講を優先する等の事情により2年次生での受講を希望しない場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>生涯スポーツ論を選択科目としている理学部、医学部看護学科、薬学部については、授業時間割で決められた曜日・時限に登録してください。</p> <p>3年次生以上(22台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>[次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。]</p>

スポーツ科学部

生涯スポーツ演習Ⅰ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅱ(後期) 生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期)	授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。詳しくは授業開始前に掲示にてお知らせします。
--	--

生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱクラス分け一覧

時 限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	I : CB 1-4 II : CB 5-6	I : CB 5-6 II : CB 1-4	I : JB 1-3 II : JB 4-5	I : JB 4-5 II : JB 1-3	I : JJ 4-6	II : JJ 4-6	I : JJ 1-3 I : MM(20名) I : 保健コース II : 保健コース	II : JJ 1-3 II : MM(20名) I : 保健コース II : 保健コース	II : EE 1-4	I : EE 1-4
2	I : CF 1-2 II : CF 3-4	I : CF 3-4 II : CF 1-2	II : EE 5-8	I : EE 5-8	I : JJ 7-9 I : MM(30名) II : LG・JJ10	I : LG・JJ10 II : JJ 7-9 II : MM(30名)	I : CC 1-3 II : CC 4-6	I : CC 4-6 II : CC 1-3	I : PP 1-2 II : PP 3-6	I : PP 3-6 II : PP 1-2
3	I : SM・SP II : SC・SE	I : SC・SE II : SM・SP	II : EE 9-12 II : MM(10名)	I : EE 9-12 I : MM(10名)	I : TM II : TE	I : TE II : TM	I : EI 1-2 II : EI 3-4 I : GS・GH	I : EI 3-4 II : EI 1-2 II : GS・GH	I : TL 1-2 I : MM(20名) II : TL 3-4	I : TL 3-4 II : TL 1-2 II : MM(20名)
4	I : TA・LP 1 II : TK・LP 2	I : TK・LP 2 II : TA・LP 1	I : LF・LA I : MM(30名) II : MN	I : MN II : LF・LA II : MM(30名)	II : TC	I : TC	I : LC II : LH I : 保健コース II : 保健コース	I : LH II : LC I : 保健コース II : 保健コース	I : LE・LJ	II : LE・LJ

(注1) 前・後期の火曜2～4時限、前・後期の金曜1時限、前・後期の金曜3時限は再履修者は登録できません。

(注2) 前・後期の木曜3限目のGS・GHクラスはスポーツ科学部の学生のみ履修可能。

(注3) 医学部医学科(MM)の新入生は、指定する複数クラス(火曜3時限、火曜4時限、水曜2時限、木曜1時限、金曜3時限)の中から先着順で登録者を決定します。なお、登録要領等については、履修登録ガイダンスの際にお知らせします。

生涯スポーツ論クラス分け一覧

時 限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	LC・LH	LJ・LE LP・P	EE 1-3	EE 4-6	EE 7-9	EE 10-12	EI 1-2	EI 3-4	CF 1-2	CF 3-4
2	JJ 1-3	JJ 4-6	CC 1-3 S	CC 4-6 S	JJ 7-8	JJ 9-10	CB 1-3	CB 4-6	JB 1-3	JB 4-5
3	LG・LF・LA MN・P									

2 保健コースについて

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱの履修者のうち、疾患および障がい等のため激しい運動ができない学生を対象とします。
- 保健コースの登録を希望する人は、まず時間割で指定されたクラスに出席してください。第1週目の授業(オリエンテーション)にて面談を行います。その結果、コースの変更が必要と判断された場合は、保健コース(木曜日1時限または4時限)への変更手続きを行います。なお、変更手続きの際に診断書の提出を求めることもあります。

3 その他

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび生涯スポーツ論における前期・後期の登録撤回、および後期の登録変更の取り扱いについては、「共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更につ

いて」(p. 46)を参照してください。

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業ではトレーニングウェア(水泳の場合には水着)を着用してください。また、体育館シューズも用意してください。詳しくは授業1週目のオリエンテーションで説明します。
- 令和6年度は、生涯スポーツ演習Ⅱのスキーを実施する予定です。生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択できるのは、医学部と薬学部を除く学部の3年次生までの学生です。

なお、生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択する人は実習費として100,000円程度必要になります(実習費は12月に徴収します)。但し、経済状況により実習費は変動することがあります。実習地は山形県蔵王スキー場を予定しています。

## 4 外国語科目

共通教育科目の外国語科目は、7つの外国語と学部留学生を対象とした日本語（注1）が設置されています。各学部・学科の外国語科目の開講は下表の通りです。

2024年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表

学部・学科		外国語科目			
		第1外国語		第2外国語（注5）	
人文学部	文化学科・歴史学科 日本語日本文学科 教育臨床心理学科 英語学科	英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	ドイツ語学科	ドイツ語	必修(8単位)	・英語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	フランス語学科	フランス語	必修(8単位)	・英語・ドイツ語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	東アジア地域言語学科 (注2)	中国語・朝鮮語・英語……必修(12単位) および選択必修(4単位) 英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語……選択			
法・経済・商学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
商学部第二部 (注3)		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
理工学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (4単位)
薬学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
医学部	医学科	英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
	看護学科 (注4)	英語……必修(8単位) ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・朝鮮語 ……選択必修(2単位)			
スポーツ科学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択

(注1) 学部留学生を対象とした日本語の取り扱いについては、P. 70「学部留学生のための授業科目「日本語」について」を参照してください。

(注2) 人文学部東アジア地域言語学科については、第1外国語・第2外国語の区別はありません。

(注3) 商学部第二部について、2023年度(23台)以前入学生は、ロシア語・スペイン語を除く4科目が開講されます。

(注4) 医学部看護学科については、第1外国語・第2外国語の区別はありません。

(注5) 第2外国語が、同一言語で4単位以上修得しない場合に、卒業要件単位として認められないことがあります。学部によって取扱いが異なりますので注意してください。

(注6) この他に選択科目として、アドバンスト・イングリッシュ(L(LH, LJ)・S・Mを除く学部)が開講されています。

## 1 外国語科目の履修登録について

●外国語科目の履修は、下位年次科目から順次登録しなければなりません。

●外国語科目は、履修登録の撤回・後期開講科目の登録変更を認めていません。

※アドバンスト・イングリッシュⅡ（後期科目）のみ、所定の登録人数に達しない場合に限り、登録変更期間に追加登録を行います。追加登録を行う場合は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加登録を行った場合も履修登録の撤回はできません。

●英語の履修登録について

英語には以下の3種類があり（カッコ内は略称）、アドバンスト・イングリッシュ以外は履修するクラスが決まっています。クラスは事前に登録してありますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。

フレッシュマン・イングリッシュ（FE）

インターミディエイト・イングリッシュ（IE）

アドバンスト・イングリッシュ（AE）

- ※1 アドバンスト・イングリッシュは開講される学部・学科・年台が決まっています。授業科目表を参照してください。履修希望者は各自で履修登録が必要です。
- 2 東アジア地域言語学科のFEⅢ・ⅣとIEⅢ・Ⅳは、事前登録を行いませんので各自で履修登録してください。
- 3 人文学部ドイツ語学科とフランス語学科は各自で英語の事前登録を取り消すことができます。
- 4 休学や留年等によりFE・IEの履修年度が遅れた場合は再履修と同様各自で履修登録が必要です。下の「●再履修の履修登録について（2年次生以上）」を読んでください。



履修登録画面の時間割表に事前登録されている英語の科目の④をクリックすると【履修科目の詳細情報】が表示され、クラスを確認することができます。

●その他の外国語の履修登録について

選択する外国語によって、登録するクラスが指定されている科目や、いくつかのクラスの中から選んで登録できる科目、登録できるクラスのペアが定められている科目などがあります。詳細は「3 英語以外の外国語について」（p.69～）を読んでください。

●再履修の履修登録について（2年次生以上）

再履修の場合は、英語・その他の外国語ともに事前登録はしませんので各自で履修登録が必要です。

また、再履修クラスが開講されている科目と、開講されていない科目があります。再履修クラスが開講されていない場合、所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録することができます。その場合、自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。

詳細は各語学の説明（p.65～）を読んでください。

●「海外英語研修」

全学部を対象に「海外英語研修」（2単位）を開講しています。応募方法など詳細はp.121の「2 海外研修・海外語学研修」を参照してください。

なお、この科目は研修に参加した翌年度に単位を認定する科目です。



## 2 英語の履修について

### ●フレッシュマン・イングリッシュ I～IV（1年次生）

フレッシュマン・イングリッシュ（以下 FE）は前期・後期とも週2回の授業があります。事前に受講するクラスが決められていて、下表の [例1] または [例2] のどちらかのパターンで1年間に3種類の目的別クラスを受講します。

	科目名	例 1	例 2
前期	FE I	R&L	R&L
	FE III	IA	ESP
後期	FE II	R&L	R&L
	FE IV	ESP	IA

**R&L：リーディング&リスニング（前期・後期とも）**

**ESP：検定対策英語（前期または後期どちらか）**

**I A：インタラクティブ英語（前期または後期どちらか）**

- ※1 人文学部東アジア地域言語学科は FE I・II のみが必修科目ですが、選択科目として FE III・IV を履修することができます。
- 2 医学部医学科の FE I～IV は、すべて前期科目です。
- 3 アスリート特別選抜および留学生クラスの FE I～IV は目的別クラスではありません。

### プレイズメントテストについて

インターミディエイト・イングリッシュで受講する目的別クラスを決めるために、授業時間外にプレイズメントテストを実施します。プレイズメントテストを受験しない場合は、受講クラスの希望を受け付けられませんので注意してください。実施については、FE II の授業内および FU ポータルのお知らせで通知します。

### ●インターミディエイト・イングリッシュ I～IV（2・3年次生）

インターミディエイト・イングリッシュ（以下 IE）I～IV は、学部・学科により履修年次が異なりますので、各学科の年次別授業科目表で履修年次を確認してください。

IE は「目的別クラス選択制」を導入しています。開講クラスは下記のとおりで、プレイズメントテスト受験の際に選択した希望順位をもとに受講クラスが決定され、事前登録されています。IE I～IV すべて同じ種類の目的別クラスを受講します。

**R&W：リーディング&ライティング**

**ESP：検定対策英語**

**C&O：CALL & オーラル・コミュニケーション**

- ※1 人文学部東アジア地域言語学科は IE I・II のみが必修科目ですが、選択科目として IE III・IV を履修することができます。
- 2 医学部医学科の IE I～IV は、すべて1年次の後期科目です。
- 3 アスリート特別選抜および留学生クラスの IE I～IV は目的別クラスではありません。

### ●アドバンスト・イングリッシュ I・II（3年次生以上、L（LH, LJ）・S・Mを除く学部）

アドバンスト・イングリッシュ（以下 AE）は、I あるいは II のみの受講も可能です。必修科目ではありませんので、履修希望者は履修登録が必要です。なお、AE は TOEIC® Listening & Reading Test のスコアが500点以上相当の英語運用能力を有する学生を想定した授業内容となっていますので、500点に満たない場合は、単位の取得が困難となる場合がありますので、注意してください。

●再履修について (FE・IE)

FE と IE を再履修する場合は、再履修者用のクラスを受講するか、下位年次生が受講するレギュラークラス（目的別クラス）で受講するかを選択することができます。

**再履修クラスを受講する場合**

下記《再履修クラス登録方法》を参照のうえ、自分で履修登録をしてください。

**前期卒業する場合**

「FE II・IV」および「IE II・IV」は本来後期科目ですが、前期にも各1クラス開講しています。

これらの科目の履修が必要な場合、このクラスに履修登録しなければなりません。

登録人数には定員を設けており、先着順に受け付けますので、早めに履修登録してください。

**【注意】**上記4クラスの定期試験は二部（夜間部）の時間帯で実施しますので、履修登録時に試験日・時限を必ず確認してください。

※ 医学部医学科の学生（再履修者）は、医学部事務課の窓口で指示を受けてください。

《再履修クラス登録方法》

[1] 下表で、再履修しようとする科目の講義形態を確認してください。

学部によって受講できる講義形態が決まっていますので注意してください。

**【英語再履修クラスの講義形態】**

学部・学科	科目	講義形態	定期試験日程	講義日程
人文学部 法学部 経済学部 商学部 スポーツ科学部	FE I・III	前期科目	定期試験期間中に実施。	p. 66 [2] へ
	FE II・IV	前期科目	定期試験期間中に <b>二部の時間帯</b> で実施。	
		後期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE I・III	前期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE II・IV	前期科目	定期試験期間中に <b>二部の時間帯</b> で実施。	
		後期科目	定期試験期間中に実施。	
理・工・薬学部 医学部看護学科	FE I～IV	夏季集中講義	夏季集中講義期間中に実施。	p. 67 [3] へ
	IE I～IV			

※ 工学部社会デザイン工学科の3年次以上で、キャリアデザインを登録する学生は「前期科目」または「後期科目」で受講してください。

[2] 下表で受講するクラスの期別・日程を確認してください。

【再履修クラス】

フレッシュマン・イングリッシュ (FE)

科目	学部 学科	組	期別	曜日	時 限	担 当 者
FE I	L J E C G	再①	前期	火	5	石 垣 恵 一
		再②		水	5	津 村 早 紀
		再③		金	4	伊 藤 益 代
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		井 石 哲 也
FE II	L J E C G	再①	後期	火	5	今 川 京 子
		再②		水	5	毛 利 優 花
		再③		金	4	一 瀬 陽 子
		再④	前期	火	5	平 野 あかり
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		毛 利 史 生
FE III	L J E C G	再①	前期	水	4	高 木 留 美
		再②		木	4	坂 井 隆
		再③		金	5	石 垣 恵 一
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		ク ロ ス
FE IV	L J E C G	再①	後期	水	4	福 原 俊 平
		再②		木	4	津 村 早 紀
		再③		金	5	久 保 佑 輔
		再④	前期	金	5	久 保 佑 輔
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		秋 好 礼 子

インターミディエイト・イングリッシュ (IE)

科目	学部 学科	組	期別	曜日	時 限	担 当 者
IE I	L J E C G	再①	前期	月	4	大 村 孝 紀
		再②		火	4	川 村 真 央
		再③		木	5	渡 部 智 也
		再④		金	4	大 津 敦 史
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		光 富 省 吾
IE II	L J E C G	再①	後期	月	4	園 田 暁 子
		再②		火	4	岩 崎 雅 之
		再③		木	5	秋 好 礼 子
		再④		金	5	船 田 佐 央 子
		再⑤	前期	月	5	福 田 慎 司
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		古 賀 恵 介
IE III	L J E C G	再①	前期	月	5	高 橋 美 知 子
		再②		火	4	田 中 悠 介
		再③		水	4	福 原 俊 平
		再④		木	4	船 田 佐 央 子
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		毛 利 史 生
IE IV	L J E C G	再①	後期	月	5	樋 渡 真 理 子
		再②		火	5	迫 由 紀 子
		再③		水	4	高 木 留 美
		再④		木	4	光 富 省 吾
		再⑤	前期	月	4	園 田 暁 子
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		福 原 俊 平

3月21日(木)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録から履修申請をしてください。半期完結の再履修クラスは1クラスあたりの登録人数に定員を設けていて、先着順に受け付けます。登録ができない場合は他の再履修クラスに履修申請してください。

### [3] 夏季集中講義について

このクラスを受講できるのは、理・工・薬学部および医学部看護学科の学生のみです。それ以外の学部学生は受講できませんので注意してください。

#### 【夏季集中講義日程】

期別	科目名	期 間	授業時間	試験日・時限
前期	FE I・III IE I・III	8月5日(月)～9日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	8月9日3限目 (13:00～14:00)
後期	FE II・IV IE II・IV	9月2日(月)～6日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	9月6日3限目 (13:00～14:00)

※ 授業時間 [1時限] 9:00～10:30 [2時限] 10:40～12:10 [3時限] 13:00～14:30

**3月21日(木)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録の履修申請画面で「集中講義科目等を選択」から受講するクラスを選択し、履修申請してください。**各クラスとも登録人数に定員はありませんが、前期と後期1科目ずつしか登録できませんので、**複数の再履修がある場合**、夏季集中講義に登録できない再履修科目は前期科目または後期科目の再履修クラスに履修登録してください。また、履修登録期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きすれば、希望する曜日・時限のレギュラークラスに登録することも可能です。

#### レギュラークラスで受講する場合

自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。登録できるクラス・人数に定員がありますので、早めに申し出てください。

また、休学等により、当該年次の英語が受講できなかった場合も、レギュラークラスを受講することができます。

- ※1 商学部第二部の学生（再履修者）がレギュラークラスへの登録を希望する場合は、商学部第二部事務課に相談してください。
- 2 再履修者のレギュラークラスへの登録方法については、共通教育センターのホームページ(<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/>)に詳しい説明を掲載しています。

TOEIC® L&R の成績による単位認定について

1. 本学入学後に受験した TOEIC® Listening & Reading Test (以下 TOEIC® L&R) の成績により、2024年度履修登録科目の中から下表の通り 4 単位を上限として認定を申請することができます。

認定授業科目 (単位)	TOEIC® L&R 成績	認定上限 単位数	成績標語 評価
フレッシュマン・イングリッシュ I～IV (各 1 単位)	860点以上	4 単位	秀(A) 90点
	730点～859点	3 単位	
インターメディアイト・イングリッシュ I～IV (各 1 単位)	600点～729点	2 単位	
	550点～599点	1 単位	

- ※ 1 単位認定科目は、申請時に履修登録されている上表の認定授業科目の中から認定上限単位数の範囲内で申請者が選択することができます。
- 2 上表の科目を再履修する場合でも単位認定を申請できますが、履修登録をしていなければ申請できませんので、注意してください。なお、再履修は下位年次から順次登録しなければなりません。
- 3 申請後、休学等により登録科目が取り消される場合、TOEIC® により認定された科目がそこに含まれる時は、認定も取り消されます。
- 4 TOEIC® L&R の成績により単位認定された授業科目は、特待生の選考にあたって考慮されません。また、GPA 評価の対象にもなりません。

2. 単位認定の申請受けは、下表の要領で 4 月と 9 月に行います。大学入学後に受験した TOEIC® L&R の成績により単位認定しますので 1 年次生は 4 月に申請することはできませんが、9 月に後期科目の単位認定を申請することができます。

申請期間	2024年 4月11日(木)～4月17日(水)	2024年 9月16日(月)～9月20日(金)
認定科目	2024年度前・後期登録科目の FE と IE	2024年度後期登録科目の FE と IE (再履修の夏季集中講義を除く)
受付場所	文系センター棟 1 階 共通教育センター (受付時間 月～金曜日の中の授業日 8:50～16:50)	
提出物	(1) TOEIC® L&R の成績による単位認定申請書 (2) 公開テストのデジタル公式認定証を印刷したものと URL または IP テストのスコアレポート (原本)	
対象となる成績	申請日から過去 1 年以内に取得した TOEIC® L&R の成績 (入学前に受験したものは不可)	

- ※ 1 一度単位認定申請に使用した TOEIC® L&R の成績は、申請科目数が認定上限単位数に満たない場合でも再度認定申請に使用することはできません。
- 2 TOEIC® L&R 単位認定に使えるのは、公開テストおよび対面で実施された IP テストの成績です。IP テストは本学内でキャリアセンターが実施しており、団体価格で受験できます。なお、IP テスト (オンライン) のテスト結果は単位認定には使用できません。
- 3 共通教育外国語科目は、後期開講科目の履修登録を変更することはできませんので、9 月に単位認定を申請できる科目は、前期開講前に履修登録した後期登録科目に限ります (夏季集中講義については、9 月に単位認定を申請することはできません)。
- 4 商学部第二部の学生に限り、申請期間中の受付時間内に申請ができない場合は、商学部第二部事務課の窓口事務時間内に提出物を提出してください。後日共通教育センターより申請の可否について連絡します。なお、申請期間以外の申請は受け付けません。
- 5 デジタル公式認定証を利用する申請には、スマートフォン等モバイル端末を窓口を持参してください。

3. TOEIC® L&R の成績による単位認定を受けた者が、その後更に上位の成績を取得した場合には再度単位認定を申請することができます。ただし、認定上限単位数から既に認定を受けた単位数を差し引いた単位数までしか申請できません。

4. IE III・IV が 3 年次科目の場合 (理学部・工学部・スポーツ科学部) は、2 年次に 730 点以上の成績で IE I・II を認定申請する場合に限り、認定上限単位数内で 3 年次の IE III・IV も同時に認定申請することができます。その場合 IE III・IV は 3 年次に履修登録 (事前登録) したうえで単位認定しますので、IE III・IV の開講曜日・時限に別の科目を登録することはできません。また、3 年次に進級できなかった場合は、IE III・IV の申請は取り消されます。

5. TOEIC® L&R の成績による単位認定の詳細および申請用紙は共通教育センターのホームページに掲載しています。

【共通教育センターのホームページ】 <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/>

### 3 英語以外の外国語について

- 英語以外の外国語には、**1年次開講科目の「I A・I B」**（医学部看護学科は「I」のみ）と**2年次開講科目の「II A・II B」**があります。p. 62の「2024年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表」および以下の説明を参考に受講科目を決めて、履修申請してください。
- 商学部第二部の2023年度（23台）以前入学生については、夜間部で各外国語の「I」と「II」が開講されますが、夜間部での開講は2024年度が最後となりますので注意してください。
- 商学部第二部（23台以前）で開講される各外国語の「I・II」と医学部看護学科で開講される各外国語の「I」は、週1回授業が行われる通年科目です。
- クラス指定がある外国語で、指定のクラスに登録できない等英語以外の外国語の登録について不明な点があれば、当該学生の履修登録期間中の窓口が開いている時間に共通教育センター（文系センター棟1階）で相談してください。
- 制限科目登録日に履修登録が必要な科目はありません。**  
所属する学部・学科の履修登録期間中に履修申請してください。なお、定員に達して履修申請を行うことができない場合は、他の外国語を履修申請してください。

#### (1) I A・I Bについて

- 各外国語の I A・I B は、**1年次に履修登録する場合は必ず両科目とも登録してください。片方だけの登録は認められません。**また、登録できるクラスは学科基本クラスにより指定されています。p. 114以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。
  - ※ 1 日本語は開講されているクラスが複数ある場合は、その中から登録するクラスを選択できます。ただし、I A・I Bは同じクラスの I A・I Bに登録しなければなりません。
  - 2 FUポータルで履修申請をする際に、I A・I Bのいずれか片方だけ選択して申請ボタンをクリックしても、エラーとなり登録できません。I A・I Bとも選択した状態で申請ボタンをクリックして登録してください。
- 英語以外の外国語科目は、同一外国語の I A（2単位）と I B（2単位）の計4単位を取得しなければ外国語科目として卒業要件単位に算入されません。なお、学部・学科によっては英語以外の外国語科目で2単位のみ取得した場合に自由履修単位として卒業要件に算入する場合があります。
- 英語以外の外国語科目は**通年科目**です。
  - ※ 人文学部ドイツ語学科の「ドイツ語 I A（前期）」・「ドイツ語 I B（後期）」、フランス語学科の「フランス語 I A（前期）」・「フランス語 I B（後期）」、東アジア地域言語学科の「中国語 I A（前期）」・「中国語 I B（後期）」と、「朝鮮語 I A（前期）」・「朝鮮語 I B（後期）」はそれぞれ週2回授業が行われ、前期または後期完結になります。

(2)Ⅱ A・Ⅱ Bについて

○「Ⅱ A・Ⅱ B」は、人文学部東アジア地域言語学科の中国語・朝鮮語を除き、それぞれ週1回授業が行われる通年科目で、**登録するクラスが指定されています**。p.114以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。

※1 理学部・工学部はⅡ AまたはⅡ Bのいずれか一方しか登録できません。

2 Ⅱ A・Ⅱ Bは、Ⅰ A・Ⅰ Bの内容を修得していることを前提に授業が行われます。

○**東アジア地域言語学科の中国語と朝鮮語**は、Ⅱ A・Ⅱ Bとも週2回授業が行われる前期または後期完結科目です。

○**人文学部**は、Ⅰ A・Ⅰ Bを修得した外国語のⅡ A・Ⅱ B両方の単位を修得しなければ第2外国語に関する卒業要件を満たすことができません。所属する学科の指定クラスで登録してください。ただし、時間割の都合上所属するクラスでの履修ができない場合は、他のクラスに登録できます(ただし同じクラスのⅡ A・Ⅱ Bに登録しなければなりません)。

※ ドイツ語のL Gクラス、フランス語のL Fクラス、中国語のL Aクラス、朝鮮語のL Aクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

○**人文学部以外の学部**は、Ⅱ A・Ⅱ Bのどちらか1つだけ履修することも可能です。時間割の都合で所属する学部のクラスに登録できない、または、所属する学部にクラスが開講されていない場合は、前項の※にあるクラス以外の人文学部のクラスに登録できます。

(3)再履修について

○**再履修者**は、各科目の所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録できます(p.65~参照)。ただし、Ⅰ A・Ⅰ BまたはⅡ A・Ⅱ Bを同時に再履修する場合は、同じクラスのⅠ A・Ⅰ BまたはⅡ A・Ⅱ Bに登録してください。

※ ドイツ語のL Gクラス、フランス語のL Fクラス、中国語のL Aクラス、朝鮮語のL Aクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

## 学部留学生のための授業科目「日本語」について

学部留学生は、外国語科目(「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」、「スペイン語」、「ロシア語」)のうち、自らの母語である言語を外国語科目として履修することができません。母語である言語が必修科目に指定されている場合は下記の「日本語」を履修し、所定の単位を修得することで、8単位を限度として当該外国語科目の単位を修得したものと取り扱います。

また、上記外国語科目に母語が含まれない学部留学生が「日本語」を履修し単位を修得した場合は、その単位を第2外国語の単位として取り扱います。

1年次 日本語Ⅰ A(通年2単位)、日本語Ⅰ B(通年2単位)

2年次 日本語Ⅱ A(通年2単位)、日本語Ⅱ B(通年2単位)

## 5 単位互換科目について

福岡市の西部地区に位置する五大学（九州大学、中村学園大学、西南学院大学、福岡歯科大学および本学）連携事業の一環として、各大学の授業を相互に開放し、単位を認定する「単位互換制度」を実施しています。これは、他大学のキャンパスで、他大学の開講科目を受講できる制度となっています。この制度に則った他大学の受講科目を「単位互換科目」と言います。

出願資格は、2年次生以上となっています。また、学部によって単位の認定についての詳細が異なりますので、履修希望者は、FUポータルあるいは窓口で配布する履修者募集要項を確認してください。詳しくは、3月中旬にFUポータルに掲示します。

※学修ガイド「福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程」(p. 179～180)を参照。

## 6 試験について

### 定期試験を実施しない授業科目

下記科目については、定期試験期間中に試験は実施しません。

各科目の成績評価方法については、シラバスで必ず確認したうえで履修申請を行ってください。

#### (1) 総合教養科目

- ①「教養ゼミ」の科目（※p. 53～54の表4を参照）
- ②化学実験・物理学実験・生物学実験
- ③データサイエンス・AI入門
- ④下表の科目

No.	科 目 名	担当者	開講期別	曜日	時限
1	図形情報	奈尾 信英	後期	木	4
2	哲学A	大西 克智	前期	木	2
3	哲学A	大西 克智	前期	木	3
4	哲学B	大西 克智	後期	木	2
5	哲学B	大西 克智	後期	木	3
6	論理学A	林 誓雄	前期	火	4
7	論理学A	林 誓雄	前期	水	2
8	論理学A	林 誓雄	前期	金	3
9	論理学A	林 誓雄	前期	金	2
10	論理学B	林 誓雄	後期	火	4
11	論理学B	林 誓雄	後期	水	2
12	論理学B	林 誓雄	後期	金	3
13	論理学B	林 誓雄	後期	金	2
14	宗教学B	飯嶋 秀治	後期	木	1
15	日本史通論A	久保 知里	前期	月	4
16	日本史通論B	久保 知里	後期	月	4
17	外国史通論A	森 丈夫	前期	水	5
18	外国史通論B	森 丈夫	後期	水	5
19	人文地理学	近藤 祐磨	後期	火	1
20	アジアの文学A	間 ふさ子	前期	金	1
21	アジアの文学A	何 憶鶴	前期	水	1
22	アジアの文学B	何 憶鶴	後期	水	1
23	経済学A	楊 光洙	前期	火	4
24	経済学A	楊 光洙	前期	火	5



#### IV. 履修の手引

No.	科 目 名	担当者	開講期別	曜日	時限
25	経済学B	楊 光洙	後期	火	4
26	経済学B	楊 光洙	後期	火	5
27	教育論A	中世古貴彦	前期	火	4
28	教育論B	中世古貴彦	後期	木	4
29	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	2
30	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	4
31	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	3
32	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	5
33	心理学A	大上 渉	前期	火	3
34	心理学A	大上 渉	前期	火	4
35	心理学B	大上 渉	後期	火	3
36	心理学B	大上 渉	後期	火	4
37	法律学概論	畑中 久彌	後期	金	5
38	地誌学	近藤 祐磨	前期	月	二部2
39	福岡大学で考える現代社会	岩山 隆寛	前期	木	5
40	福岡大学で考える現代社会 文系	熊丸 憲男	後期	火	4
41	福岡大学で考える現代社会 理系	熊丸 憲男	後期	火	4
42	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	2
43	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	3
44	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	前期	金	2
45	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	後期	月	5
46	福岡大学で考える現代社会	橋場 論	前期	水	5
47	福岡大学で考える現代社会	安井 英俊	前期	火	4
48	福岡大学で考える現代社会	安元 佐和	前期	木	5
49	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	1
50	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	2
51	アカデミックスキルズゼミⅠ	紺田 広明	前期	火	5
52	アカデミックスキルズゼミⅠ	道山 治延	前期	木	1
53	アカデミックスキルズゼミⅡ	吉田 秀幸	後期	木	1
54	アカデミックスキルズゼミⅡ	鈴木 学	後期	火	5
55	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3
56	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2

#### (2) 保健体育科目


生涯スポーツ演習Ⅰ 生涯スポーツ演習Ⅱ  
生涯スポーツ演習Ⅲ 生涯スポーツ演習Ⅳ 生涯スポーツ論

#### (3) 課程科目

課程科目のうち定期試験を実施しない授業科目についての留意事項は、別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程 履修の手引』を参照してください。

#### (4) 外国語科目

- ①英語科目 (FEⅢ・ⅣのIAクラス、IEⅠ～ⅣのC&Oクラス、左記以外で授業シラバスの試験実施欄に「無し」と記載されているクラス)
- ②ドイツ語科目 (※LGクラスを除く ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語ⅠA・ⅠB、ドイツ語ⅡA・ⅡB)
- ③フランス語科目 (※LFクラスを除く フランス語Ⅰ・Ⅱ、フランス語ⅠA・ⅠB、フランス語ⅡA・ⅡB)
- ④中国語科目 (※LAクラスを除く 中国語Ⅰ・Ⅱ、中国語ⅠA・ⅠB、中国語ⅡA・ⅡB)
- ⑤スペイン語科目 (スペイン語Ⅰ、スペイン語ⅠA・ⅠB、スペイン語ⅡA・ⅡB)

 上記の「定期試験を実施しない授業科目」については、追試験・再試験を実施しません。

# 商学部第二部留意事項

## 1 履修登録単位について

1年間に履修登録できる単位数は、41単位です。(昼間部履修を含みます。)

※20台以前の学生については、前年度における合格科目の単位数が41単位に不足する場合、さらにその不足単位数のうち8単位を限度に登録できます。

## 2 ゼミナールについて

2年次以降に履修します。

選択必修科目(選択必修科目2群)ですので、2年次以降に次の5つのゼミナールから1つ以上を履修・修得してください。

単年度に履修できるゼミナールの数は、1つに限られています。

- ・「商学ゼミナールA」
- ・「金融ゼミナールA」
- ・「経営ゼミナールA」
- ・「会計ゼミナールA」
- ・「国際ゼミナールA」

ゼミナールの担当教員は毎年変わりますので、一度修得したゼミナールを翌年度以降に再度履修することができ、その場合は「〇〇ゼミナールB」として登録されます。

各ゼミナールは履修者数に上限(20人程度)がありますので、応募者の中から主に成績により履修者を決定します。

応募方法等については、毎年11月頃に案内します。

### 【23台各種プログラム生】

2年専門ゼミナールは通常の講義とは異なり、少人数で行われます。

商学部では2年次前期に募集選考し、「2年専門ゼミナール(後期)」「3年専門ゼミナールI(前期)」「3年専門ゼミナールII(後期)」「論文ゼミナール(通年)」と2年半にわたって開講します。この期間、ゼミ生は同じ指導教員のもとで連続して受講することになっています。

①履修登録（仮登録）

3月の履修登録期間中に次のとおり、仮登録（2単位）をしてください。なお、この期間中に仮登録以外の「2年専門ゼミナール」を登録することはできません。

科 目：2年専門ゼミナール（仮登録）

仮担当者：杉本 宏幸

単 位：2単位

※「集中講義等の登録科目」に表示され、登録上限単位数〔41単位〕に含まれます。

（登録上の注意）

2年専門ゼミナールは2年次前期に履修者を選考し、後期に開講します（下表参照）。第一希望のゼミナールに合格するとは限りませんが、「2024年度商学部授業時間割」を確認し、**希望する担当者の時限枠は空けておくことが望ましいです。特に後期登録変更ができない科目（登録制限科目）は登録しないでください。**

選考にもれた場合は、後期履修登録変更期間〔9月4日(水)～6日(金)〕に追加登録等の登録変更をしてください。

●令和6（2024）年度2年専門ゼミナール時間割

曜日	時限	学科(系列)	教員氏名	曜日	時限	学科(系列)	教員氏名	曜日	時限	学科(系列)	教員氏名
月	2	商	弘津 真澄 伊藤 豪	水	3	経営(経営)	河瀬 宏則 藤野 真 和田 剛明	木	3	貿易	大石 恵 木幡 伸二 豊 嘉哲
	5	経営(会計)	長東 航				樋口 あゆみ				岡 陽子
火	3	商	植村 信保 鈴木 裕介				経営(会計)				篠原 巨司馬 高橋 秀至
			経営(経営)			大上 麻海 猿田 冬樹		渡辺 剛 飛田 努	村上 剛人		
	経営(会計)	飯塚 雄基	商			太宰 潮 藤田 裕邦	中塚 晴雄				
	貿易	アケミ,キユチク アリ 掛下 達郎				経営(経営)	森田 泰暢	新田町 尚人			
水	2	商	本村 希代	3	経営(会計)	池田 健一 田坂 公	貿易	伊豆 久 松 永達			
	3	経営(経営)	合力 知工		ポ-ブ,クリストフ- ジョ-ジ						

②募集説明会の開催

募集説明会で募集要項を配付し、選考スケジュール等を説明します。

**希望する学生は必ず出席してください。**出席しなかった場合は、履修登録（本登録）できません。

説明会の日時・場所については、次のとおりです。

日 時：4月17日(水) 16:30～（予定）

場 所：後日、FUポータルでお知らせします。

### 3 昼間部履修について

卒業に必要な単位のうち、在学期間を通して40単位（このうち共通教育科目は32単位まで）を限度に昼間部（商学部）での履修が可能です。なお、会計専門職プログラムの学生は60単位を限度に昼間部（商学部）での履修が可能です。

#### 注意

- 昼間部では、商学部第二部とは別の定期試験時間割が決まっていますので、授業時間割だけで受講科目を決めることはできません。必ず、試験時間が重なっていないことを確認してください。

※授業を受けることができて、試験を受けられなければ単位の修得はできません。

### 4 外国語科目について

#### ○ 第1外国語

##### 1年次生

- 「フレッシュマン・イングリッシュⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」（FEと略）については、**クラスが指定**されていますので、**指定のクラスで受講**してください。履修登録ではあらかじめ登録されています。

##### 2年次生

- 「インターメディアイト・イングリッシュⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」（IEと略）については、**クラスが指定**されていますので、**指定のクラスで受講**してください。履修登録ではあらかじめ登録されています。

##### 2年次生以上

#### ● 「FE、IE」再履修の登録

再履修者は、再履修クラスを履修してください。

履修申請は、FUポータルにログインし、履修登録システムで行います。

なお、再履修クラス以外を希望する場合は、2号館1階の商学部第二部事務課に相談してください。

#### ○ 第2外国語

##### 【24台】

- 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「ロシア語」、「スペイン語」、「朝鮮語」の各ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡBを開講しています。  
ⅠA・ⅠBは1年次に、ⅡA・ⅡBは2年次に開講される科目です。
- 各科目「ⅠA・ⅠB」については、**履修登録をする場合は必ず両科目とも登録**してください。片方だけの登録は認められません。  
※詳しくはP.69をご参照ください。
- 履修時限については、**昼間部の時限（1～5限）**となりますが、昼間部履修上限（32単位）には含まれません。
- 各科目2単位のみを修得した場合、その単位は自由履修単位として卒業要件単位に算入されます（第2外国語の卒業要件単位としては、同一外国語を4単位以上修得しなければなりません）。
- 定期試験は、定期試験期間中の昼間部の時間帯に行います。

## 【23台以前】

- 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」の各Ⅰ・Ⅱを開講しています。
- 各科目「Ⅰ」修得後、「Ⅱ」が履修可能です。
- 各科目2単位のみを修得した場合、その単位は自由履修単位として卒業要件単位に算入されます（第2外国語の卒業要件単位としては、同一外国語を4単位修得しなければなりません）。

※23台以前の学生については、第2外国語の夜間部開講は2024年度が最後となりますので注意してください。

※第1外国語および第2外国語の前期・後期の撤回および後期登録変更はできません。

## 5 保健体育科目について

本学の保健体育科目は、生涯体育の理念に基づき、学生が様々な身体運動（スポーツを含む）を体験することにより、学生生活を豊かにし、さらには生涯学習の一環としての生涯スポーツを実践し、生活を充実させることを目的にしています。また、健康・体力のみならず、生き甲斐という面からも日常生活における身体運動の必要性を認識し、かつ創造的自由な諸活動が楽しくできるために必要な能力や態度を育成し、将来のライフスタイルを計画するに当たっての有益な科学的知識と体験を提供することも目的としています。

そのため、授業を理論と実技の演習形式としています。理論では身体運動やスポーツの意義ならびに効果について健康科学ないしは自然・社会科学的面から理解することとし、実技では基礎体力の保持・増進・回復をねらいとし、様々なスポーツ種目の学習を体験することとします。

### 1年次生

- 生涯スポーツ演習Ⅰ（必修）
- 生涯スポーツ論（必修）

授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ登録しています。

### 2年次生

- 生涯スポーツ演習Ⅱ（選択）

指定されたクラスで履修登録をしてください。

※「生涯スポーツ演習Ⅰ」、「生涯スポーツ論」を再履修する場合は、「再クラス」で履修登録をしてください。

「生涯スポーツ演習」の授業はトレーニングウェアを着用してください。

※生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論の前期、後期の撤回および後期登録変更はできません。

## 6 登録制限科目について

下記科目は、授業の性格上、受講者数を制限しています。ただし、定員に満たない場合は、追加募集をWeb履修登録画面上で行います。

(1) 下記科目は事前（12月）に選考を行っており、すでに受講者が決定しています。

- 商学・金融・経営・会計・国際ゼミナール（A・B）・ビジネスデザインゼミナール・海外交流ゼミナール（各通年）

(2) 昼間部に開講される総合教養科目の制限科目は、全学部共通留意事項(p.47～52)に従って募集します。

(3) 専門教育科目

### ◎1年次生

曜日	時限	期別	科目	担当者	募集人数	登録受付方法	登録受付日時
火	二部1	前期	情報表現技術	諸原 真樹	10	先着順	4月3日(水)13:00～20:00 【定員になり次第締切。 定員に満たない場合は、追加募集(4月4日(木)18:00～履修登録画面上で先着順)を行います。】
	二部2		情報表現技術		80		

### ◎2年次生以上

曜日	時限	期別	科目	担当者	募集人数	登録受付方法	登録受付日時
月	二部1	前期	外書講読I A	張 凱恵	18	先着順	3月21日(木)13:00～ 23日(土)18:00 【定員になり次第締切。 定員に満たない場合は、追加募集(3月25日(月)13:00～履修登録画面上で先着順)を行います。】
			外書講読A I		2		
		後期	外書講読I B		18		
			外書講読A II		2		
	二部2	前期	外書講読II A		18		
			外書講読B I		2		
		後期	外書講読II B		18		
			外書講読B II		2		
	二部2	前期	会計情報システム論	平川 茂	58		
			会計情報システム論I		2		
		後期	会計情報システム論		58		
			会計情報システム論II		2		
火	二部1	前期	情報表現技術		諸原 真樹	80	
	二部2		情報表現技術			10	
	二部1	後期	マーケティングリサーチ			杉本 宏幸	45
水	二部1	前期	外書講読上級A		長谷川伸子	13	
			外書講読C I	2			
		後期	外書講読上級B	13			
			外書講読C II	2			
	二部1	後期	ビジネスコミュニケーション ビジネスコミュニケーション実務IA	田代 安彦	28 2		
	二部1	前期	特別講義C(キャリア形成実践)	門田 良明	30		
後期		特別講義A(キャリア形成支援)	30				
木	二部1	前期	情報処理入門	永島 徹	60		
		後期	情報処理基礎		60		
	二部2	後期	マルチメディア概論	60			
	二部1	前期	情報システム論	福永 良浩	50		
		後期	情報システム論		50		
	二部2	前期	情報処理入門	50			
後期		情報処理基礎	50				
金	二部1	後期	オペレーションズリサーチ	橋本 敦夫	50		

(4) 関連教育科目(商学部の授業科目)

曜日	時限	期別	科目	担当者	募集人数	登録受付方法	登録受付日時
月	1	前期	アメリカ経済論Ⅰ	掛下 達郎	300	抽選	申込期間 3月21日(木)11:00~ 3月22日(金)13:00  結果発表 3月23日(土)12:00 (履修登録画面上)  定員に満たない場合は、 3月25日(月)9:00~から 追加募集を行います (履修登録画面上で先着順)。
		後期	アメリカ経済論Ⅱ		300		
水	3	前期	貿易商務論A	田代 安彦	300		
		後期	貿易商務論B		300		
	4	後期	市場分析論	福澤 勝彦	300		
木	2	前期	海外直接投資論	大石 恵	300		
	2	後期	グローバル企業論		300		
	4	前期	海上保険論A	五十部 沢	300		
	4	後期	海上保険論B		300		
	5	後期	企業戦略論	合力 知工	300		
金	1	後期	証券と金融	田中 義孝	300		
	2	前期	地域経営論	木藤 亮太	300		
	2	後期	金融政策論	中塚 晴雄	300		

(5) 概説系科目

教職課程受講者へ〈登録者数に制限を行う人文学部開設科目〉

下記4科目は一部の教員免許状において必須の科目です。隔年で夜間部で開講を行っており、商学部二部の学生は原則、夜間部の科目を履修してもらいます。

卒業予定者で今年度昼間部でのみ開講している科目を受講しないと教員免許状取得ができない場合は、制限を行っていますので、以下の通り履修登録を行ってください。

不明な点があれば、教職課程教育センターまでお尋ねください。

曜日	時限	期別	科目名	担当者	登録定員	選考方法	登録受付日時	令和6年度夜間にも開講がある科目
月	5	前期	概説日本史	久保 知里	170	先着順	●受付時間 3月21日(木)10:00~ 3月23日(土)23:59  ※受付期間終了後 定員に満たない場合は、 3月25日(月)9:00から 履修登録画面上で追加募集を行います(先着順)。	○
金	5	後期	概説外国史	森 丈夫 山根 直生	170			○
木	5	前期	概説社会学	森 康司	170			○
火	5	後期	概説哲学	広川 明	170			○

# 7 関連教育科目（商学部の授業科目）について

年次別授業科目表（学科履修規程・第4条別表）関連教育科目における「商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目」は、次のとおりです。

[24台]

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブマネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブマネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブマネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブマネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブマネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナールA	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策論	2
	キャリアデザイン	2	サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策論	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策論	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略論	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計論	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論A	2	貿易商務論B	2	国際金融論I	2
			国際金融論II	2	日本経済論A	2	日本経済論B	2
			ヨーロッパ経済論I	2	ヨーロッパ経済論II	2	アメリカ経済論I	2
			アメリカ経済論II	2	開発経済論A	2	開発経済論B	2
			アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論A	2	国際協力論B	2	国際マーケティング論B	2
			貿易政策論	2	海上保険論A	2	海上保険論B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナールB	2				

[23台]

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナールA	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策論	2
			サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策論	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策論	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略論	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計論	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論A	2	貿易商務論B	2	国際金融論I	2
			国際金融論II	2	日本経済論A	2	日本経済論B	2
			ヨーロッパ経済論I	2	ヨーロッパ経済論II	2	アメリカ経済論I	2
			アメリカ経済論II	2	開発経済論A	2	開発経済論B	2
			アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論A	2	国際協力論B	2	国際マーケティング論B	2
			貿易政策論	2	海上保険論A	2	海上保険論B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナールB	2				



[22台]

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナール A	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策	2
			サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論 A	2	貿易商務論 B	2	国際金融論 I	2
			国際金融論 II	2	日本経済論 A	2	日本経済論 B	2
			ヨーロッパ経済論 I	2	ヨーロッパ経済論 II	2	アメリカ経済論 I	2
			アメリカ経済論 II	2	開発経済論 A	2	開発経済論 B	2
			アジア経済論 A	2	アジア経済論 B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論 A	2	国際協力論 B	2	国際マーケティング論 B	2
			貿易政策	2	海上保険論 A	2	海上保険論 B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナール B	2				

[21台]

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
			流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策	2
			サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論 A	2	貿易商務論 B	2	国際金融論 I	2
			国際金融論 II	2	日本経済論 A	2	日本経済論 B	2
			ヨーロッパ経済論 I	2	ヨーロッパ経済論 II	2	アメリカ経済論 I	2
			アメリカ経済論 II	2	開発経済論 A	2	開発経済論 B	2
			アジア経済論 A	2	アジア経済論 B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論 A	2	国際協力論 B	2	国際マーケティング論 B	2
			貿易政策	2	海上保険論 A	2	海上保険論 B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2

## 8 履修登録日程について

1年次では、専門教育科目の基本部分（選択必修科目）と共通教育科目を中心に履修することになりますので、本年度は大学に慣れながら卒業までの履修計画を考える期間としてください。

2年次生以上は、進路や学習方針ならびに前年度までの修得状況に基づき、卒業までの着実な履修計画を立ててください。

### 2年次生以上

行 事	期 日	時 間	登 録
履 修 登 録 (登録制限科目を除く)	3月25日(月)	9:00~25:00	インターネット接続が 可能なパソコン等で登録
	3月26日(火) ? 3月28日(木)	20:00~25:00	

※登録制限科目については、全学部共通留意事項 p.47~58および、商学部第二部留意事項 p.77~78を参照してください。

### 1年次生

行 事	期 日	時 間	登 録
履 修 登 録 (登録制限科目を除く)	4月4日(木)	18:00~25:00	インターネット接続が 可能なパソコン等で登録
	4月5日(金)	16:20~17:50	

※登録制限科目については、全学部共通留意事項 p.49~58および、商学部第二部留意事項 p.77を参照してください。

## 9 専門・関連教育科目における登録撤回・後期登録変更対象外科目について

- ① 専門・関連教育科目のうち、夜間部に開講される必修科目、登録制限科目（ゼミナールも含む）については、登録撤回・後期登録変更をすることができません。
- ② ①以外の通年開講科目（関連教育科目を含む）については、前期の登録撤回はできますが、後期の登録撤回と後期の登録変更はできません。

## 10 試験について

定期試験は前期・後期の各期末に実施されます。

※年度始めに配布する「令和6年度 商学部第二部〈夜間部〉定期試験時間割」は暫定的なものです。

必ず、定期試験前にFUポータルメニューの「定期試験日程表 WEB 掲示」で各自確認・印刷してください。

### 定期試験を実施しない科目

下記の科目については、定期試験期間中には試験を実施しません。(p.71~72参照)したがって、再試験も実施しませんので注意してください。

#### (1) 総合教養科目

- ①ゼミ形式で授業を実施する「教養ゼミ」の科目 (p.53~54参照)。
- ②総合系列科目 (p.55~56参照)。
- ③学修基盤科目 (p.57~58参照)。

(学部共通シラバス参照)

#### (2) 外国語科目

外国語科目については p.72 の「(4) 外国語科目」を参照してください。

#### (3) 保健体育科目

- 生涯スポーツ演習 I
- 生涯スポーツ論
- 生涯スポーツ演習 II

#### (4) 専門教育科目

- 基礎ゼミナール
- 会計基礎ゼミナール
- 商学ゼミナール A
- 商学ゼミナール B
- 金融ゼミナール A
- 金融ゼミナール B
- 経営ゼミナール A
- 経営ゼミナール B
- 会計ゼミナール A
- 会計ゼミナール B
- 国際ゼミナール A
- 国際ゼミナール B
- ビジネスデザインゼミナール
- 2年基礎ゼミナール
- 2年専門ゼミナール
- 3年専門ゼミナール I
- 3年専門ゼミナール II
- 論文ゼミナール
- 情報表現技術
- 外書講読 I A
- 外書講読 A I
- 外書講読 I B
- 外書講読 A II
- 外書講読 II A
- 外書講読 B I
- 外書講読 II B
- 外書講読 B II
- 外書講読 C I
- 外書講読上級 A
- 外書講読 C II
- 外書講読上級 B
- 特別講義 A (CMP)
- 海外交流ゼミナール

#### (5) 関連教育科目

- 財政学
- ミクロ経済学
- クリエイティブ・マネジメント論
- プロジェクト・マネジメント論
- クリエイティブ・マネジメント演習 I
- クリエイティブ・マネジメント演習 II

- クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ
- クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ
- 特別ゼミナールA
- 特別ゼミナールB

## 11 既修得単位の認定について

〈1年次生の皆さんへ〉

**本学入学前に他大学等で修得した単位について**

新入生の皆さんが本学へ入学する前に、大学・短期大学（外国の大学・短期大学を含む）、高等専門学校および専修学校の専門課程等において単位を修得した授業科目があれば、教授会が教育上有益と認めた場合、30単位を限度に本学で修得した授業科目として認定することがあります。ただし、認定は入学年度の4月申請時のみです。

該当する方で、認定を希望する場合は、次の要領で手続きをしてください。

〔申請要領〕

1. 申請書配付 4月2日(火)から  
商学部第二部事務課（2号館1階）にて配付
2. 提出締切日 4月9日(火)
3. 提出先 商学部第二部事務課
4. 提出書類 申請書、学業成績証明書、授業科目の具体的な内容、授業回数、授業時間を確認できるもの（シラバス・履修要項等）

『学修ガイド』p.177～178「福岡大学における既修得単位等の取扱いに関する規程」参照。

## 12 前期卒業について【20台以前】

「前期卒業」については、本人による事前の手続きが必要です。

手続きがない場合、「前期卒業」はできません。

「前期卒業」の申請手続き方法については毎年3月に開催する説明会で説明します。

# 会計専門職プログラム

会計専門職プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、会計学の理論教育を深化させるとともに徹底的な演習教育を実施することにより、高度な会計学の理論と実務能力を身に付け、グローバル社会及び地域社会に貢献できる優秀な職業会計人を育成することを目的とします。(p. 85内規第2条参照)

## 1 会計専門職プログラムについて

- 会計専門職プログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となれる者は、商学部及び商学部第二部の学生に限ります。
- プログラム学生となるためには、会計専門職プログラムの入学試験に合格して入学するか、または1年次後期開始前及び2年次後期開始前に実施される会計専門職プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。なお、会計専門職プログラム学生選抜試験の詳細は p. 90に記載されていますが、「簿記原理」の単位を修得することが受験資格となっているので（修得見込者も可）、プログラム学生となることを志願する者は時間割に注意し、間違いのないよう、履修登録を行う必要があります。  
なお、いったんプログラム学生となっても、p. 86に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。
- 会計専門職プログラム学生選抜試験を受験する場合には、必ず「会計専門職プログラム説明会」に出席しなければなりません。（欠席した者は受験できません。）  
会計専門職プログラム説明会は、前期中に実施予定です。（説明会開催の詳細な日時については6月下旬頃FUポータル・商学部掲示板でお知らせします。）
- プログラム学生は、公認会計士試験受験対策講座等を受講できるほか、会計専門職プログラム独自の科目を履修することができます。プログラム学生は、p. 85～86に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。
- プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。
- プログラム学生は、7号館4階にある会計専門職プログラム専用の自習室を利用できます。

## 2 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラムに関する内規と科目履修について

会計専門職プログラムの学生は、以下の内規及び別表第1、別表第2に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生は十分注意し、p. 87～88の該当する学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

(趣旨)

第1条 福岡大学学科履修規程第6条の4第1項に規定する商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めあるもののほか、この内規の定めるところによる。

(目的)

第2条 プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、会計学の理論教育を深化させるとともに、徹底的な演習教育を実施することにより、高度な会計学の理論と実務能力を身に付け、グローバル社会及び地域社会に貢献できる優秀な職業会計人を育成することを目的とする。

(教育目標)

第3条 プログラムは、会計学的能力に優れかつ勉学意欲の高い学生を選抜し、公認会計士試験受験対策講座を含むカリキュラムを学修することにより、グローバル企業の経理担当者として通用する能力を修得することを教育目標とする。また、在学中に、公認会計士、税理士、不動産鑑定士、中小企業診断士、国税専門官、日商簿記1級などの試験に合格できる学生を輩出することも教育目標とする。

(プログラム学生の受入れ)

第4条 プログラムは、第2条の目的を達成するため、次に掲げる学生をプログラム学生として広く受け入れる。

- (1) 在学中、努力を怠らず勉学に意欲のある者
- (2) 自学自習に励み、公認会計士試験受験対策講座等を受講するなどして、在学中に公認会計士試験等に合格することを目標とする者

(選抜)

第5条 プログラム学生は、商学部経営学科及び商学部第二部商学科におけるプログラム入学試験の合格者並びに商学部及び商学部第二部の第1年次又は第2年次におけるプログラム選抜試験の合格者とする。  
2 選抜試験の実施に関する事項は、別に定める。

(授業科目、単位等)

第6条 プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

2 プログラム選抜試験に合格しプログラム学生となった者が次年度より履修することができる単位数は、規程第5条第4項第2号本文又は同条第5項第2号本文に定めるとおりとする。

(講座の受講)

第7条 プログラム学生は、福岡大学（以下「本学」という。）が提供する公認会計士試験受験対策等の講座（以下「講座」という。）を受講することができる。

2 前項の受講に関する取扱いについては、次のとおりとする。

- (1) プログラム学生は、講座を受講するにあたり、別に定める誓約書を商学部長に提出する。
- (2) プログラム入学試験の合格者及び第1年次におけるプログラム選抜試験の合格者は、第3年次8月に実施される公認会計士試験（論文式試験）を受験するための公認会計士試験受験対策講座を受講することができる。
- (3) 前号の合格者で、所定の審査を経たものは、第4年次8月に実施される公認会計士試験（論文式試験）又は税理士試験を受験するための公認会計士試験受験対策講座又は税理士試験受験対策講座（簿記論及び財務諸表論）を受講することができる。
- (4) 第2年次におけるプログラム選抜試験の合格者は、第4年次8月に実施される公認会計士試験（論文式試験）を受験するための公認会計士試験受験対策講座を受講することができる。

(5) 本学が指定した講座の受講料以外の諸費用については、全てプログラム学生の自己負担とする。

(資格審査)

第8条 商学部及び商学部第二部では、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

2 資格審査は、各学期末に実施する。

3 資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、原則としてプログラム学生の資格を喪失する。

(1) 退学、除籍、休学又は転部（商学部又は商学部第二部への転部を除く。）をした者

(2) プログラムを修了する意思がないと認められる者

(3) 別表に定める各年次の修了要件を満たすことができないことが確定した者

(4) プログラム学生となった年度末の資格審査時において、当該年度の単位修得率が8割5分に満たない者\*

(5) プログラム資格審査試験に合格しなかった者

(6) 資格審査日の直近の6ヵ月間に受講した講座の出席率が概ね9割5分未満であり、改善の見込みがないと認められる者

(7) 資格審査日の直近の6ヵ月間に受講した講座における確認テスト等の得点率が概ね8割未満であり、改善の見込みがないと認められる者

(8) 卒業までの在学年数が4年を越えることが確定した者

(9) その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

4 プログラム学生の資格を喪失した者が1年間に履修することができる単位数は、規程第5条第4項第2号ただし書又は同条第5項第2号ただし書に定めるとおりとする。

5 プログラム学生として修得した全ての単位は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

6 資格審査の実施に関する事項は別に定める。

(修了)

第9条 第4年次終了時にプログラム学生が所属する学科の卒業に必要な単位を修得し、かつ、卒業要件を満たすとともに、別表に定めるプログラムの修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

(補則)

第10条 プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この内規は、令和6年4月1日から施行し、令和3年度入学生から適用する。

※認定単位（成績通知書において、科目名欄に「\*」が記載されているもの）および教職課程のために特に設けられた科目（成績通知書において、教職課程科目欄に表示される科目）は含まない。

別表

第1 商学部(商学科、経営学科、貿易学科)のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次	
1	※簿記原理	4			1	
1	※会社簿記	4	12			
1	※原価計算論	4				
1	□経営基礎ゼミナールⅠ	2			-	
1	□経営基礎ゼミナールⅡ	2	-			
2	□2年基礎ゼミナール	2				
2	※2年専門ゼミナール	2	2		2	
1	△会計学総論	2			3	
2・3・4	△財務会計論	2				
2・3・4	△経営分析論	2				
2・3・4	△監査論	2				
2・3・4	△会計学特論	2	左記科目の うちから 16	20		
2・3・4	△税と生活	2				
2・3・4	△税務会計論	2				
2・3・4	△管理会計論	2				
2・3・4	△意思決定会計論	2				
2・3・4	△国際会計論	2				
2・3・4	△会計情報システム論	2				
3	※3年専門ゼミナールⅠ	2				
3	※3年専門ゼミナールⅡ	2				
4	△キャリア研修X	4			左記科目の うちから 4	10
4	△キャリア研修Y	4				
4	△キャリア研修Z	4				
4	※論文ゼミナール	6				

(注) ※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

1 プログラム学生は、学科履修規程第2条第4項に定める卒業に必要な単位を修得するとともに、別表第1に定める修得必要単位を修得しなければならない。

2 プログラム学生は、年次毎に定める必要な単位(修得必要単位)を当該年次終了時までまでに修得しなければならない。

3 別表第1に定めるキャリア研修の単位は、第4年次1月末日までに次の試験に合格したときに、これを認める。

(1)キャリア研修X 日商簿記検定試験1級、全経簿記検定試験上級又は税理士試験の簿記論若しくは財務諸表論

(2)キャリア研修Y 公認会計士試験短答式若しくは国税専門官採用試験に合格又は税理士試験の簿記論及び財務諸表論

(3)キャリア研修Z 公認会計士試験又は税理士試験



別表

第2 商学部第二部（商学科）のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次
1	※簿記原理	4	4		1
1	□基礎ゼミナール	2	-		-
1	□会計基礎ゼミナール	2			
2	□2年基礎ゼミナール	2			
2	□2年専門ゼミナール	2			
1	※会社簿記	4	8	28	3
1	※原価計算論	4			
2・3・4	△会計学総論	2	左記科目のうちから 16		
2・3・4	△財務会計論	2			
2・3・4	△経営分析論	2			
2・3・4	△監査論	2			
2・3・4	△会計学特論	2			
2・3・4	△税と生活	2			
2・3・4	△税務会計論	2			
2・3・4	△管理会計論	2			
2・3・4	△意思決定会計論	2			
2・3・4	△国際会計論	2			
2・3・4	△会計情報システム論	2			
3	△3年専門ゼミナールⅠ	2	左記科目のうちから 4	4	
3	△3年専門ゼミナールⅡ	2			
2・3	△会計ゼミナールA	4			
2・3	△会計ゼミナールB	4			
4	△論文ゼミナール	6			
4	△キャリア研修X	4	左記科目のうちから 4		
4	△キャリア研修Y	4			
4	△キャリア研修Z	4			

(注) ※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

1 プログラム学生は、学科履修規程第2条第5項に定める卒業に必要な単位を修得するとともに、別表第2に定める修得必要単位を修得しなければならない。

2 プログラム学生は、年次毎に定める必要な単位（修得必要単位）を当該年次終了時までに修得しなければならない。

3 別表第2に定めるキャリア研修の単位は、第4年次1月末日までに次の試験に合格したときに、これを認める。

(1)キャリア研修X 日商簿記検定試験1級、全経簿記検定試験上級又は税理士試験の簿記論若しくは財務諸表論

(2)キャリア研修Y 公認会計士試験短答式若しくは国税専門官採用試験に合格又は税理士試験の簿記論及び財務諸表論

(3)キャリア研修Z 公認会計士試験又は税理士試験

## 【キャリア研修X・Y・Zの単位認定について】

### 1. キャリア研修X・Y・Zとは

キャリア研修X・Y・Zとは、プログラム修了要件別表注(3)に示す試験に合格した場合に本人の申請により単位が認定される科目です。詳細は下表のとおりです。X・Y・Z全てを申請することも可能です。申請には合格証書の原本が必要ですので、必ず保管しておいてください。なお、本学入学前に合格した試験についても、申請することができます。

申請科目	対象となる試験・検定	単位数
キャリア研修X	日商簿記検定試験1級 全経簿記検定試験上級 税理士試験の簿記論又は財務諸表論	4単位
キャリア研修Y	公認会計士試験短答式 国税専門官採用試験 税理士試験の簿記論及び財務諸表論	4単位
キャリア研修Z	公認会計士試験 税理士試験	4単位

※一つの申請科目に対し対象となる試験に複数合格した場合でも、認定は4単位のみです。

### 2. 受験票提出及び合格報告について

上表の各種試験の受験毎に、受験票の受領日から原則として1週間以内に教務二課（商学部会計専門職プログラム）に「受験票の控え（コピー）」を提出してください。また、各種試験に合格した際は、合格証書の発行日から原則として1週間以内に「合格報告（報告書の提出及び合格証書の原本提示）」を行ってください。なお、入学前に合格した試験については入学後1ヶ月以内（選抜試験によりプログラム学生となった者が選抜試験前に合格した試験については選抜試験合格後1週間以内）に報告してください。報告の最終締め切りは4年次の1月末です。

※公認会計士試験論文式試験に合格した際は、合格証書に加え「論文式試験成績通知書」も持参すること。

### 3. キャリア研修単位認定申請について

キャリア研修単位認定の申請期間及び提出書類は次のとおりです。この期間内に、自身が希望する科目を申請します。なお申請する科目の対象となる試験の合格報告がなければ単位は認定されません。合格報告のみで申請書の提出がない場合も同様です。

申請期間：4年次の12月中の一定期間（詳細は11月上旬に掲示します）  
提出書類：キャリア研修単位認定申請書  
提出先：教務二課（商学部会計専門職プログラム）

なお、単位認定申請期間までに合格発表が行われていない試験であっても、4年次1月末日までに合格報告が可能な試験を受験している場合には、単位認定を申請することができます。

### 4. 単位の認定時期及び履修登録について

単位の認定時期は4年次末です。

キャリア研修X・Y・Zは4年次のWeb履修登録は不要です。ただし、これらの単位は年間登録上限単位数に含まれます。申請する予定の単位数を差し引いて履修計画を立てる必要があるので注意してください。

### 3 会計専門職プログラム学生選抜試験について

会計専門職プログラムで学ぶためには、会計専門職プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

試験の実施要領は以下のとおりですので、受験希望者は参照してください。

(目的)

- 1 この実施要領は、商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラムに関する内規（以下「内規」という。）第5条第2項の規定に基づき選抜試験について必要な事項を定める。

(募集時期)

- 2 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下「プログラム」という。）の学生選抜試験の募集時期は、第1年次後期開始前及び第2年次後期開始前とする。

(募集人員)

- 3 プログラムの募集人員は、概ね次のとおりとする。

- (1) 商学部商学科・経営学科・貿易学科20人
- (2) 商学部第二部商学科5人

(出願資格)

- 4 プログラム学生選抜試験に出願することができる者は、内規第4条に定める者のうち、次の各号の条件をすべて満たすものとする。

- (1) 商学部又は商学部第二部の第1年次又は第2年次に在籍する者
- (2) 職業会計人の使命及びプログラムの趣旨を理解し、合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思を固めている者
- (3) 「簿記原理」の単位を修得した者又は修得見込である者
- (4) 過去にプログラム学生でなかった者

(選考)

- 5 プログラム学生の選考は、前項各号に掲げる出願資格を確認の上、筆記試験（簿記原理）及び面接により行い、その評点は各100点、合計200点満点とする。

(運営委員会)

- 6 プログラム学生選抜試験に関する学生募集、筆記試験及び面接は、会計専門職プログラム運営委員会が実施する。

(実施日)

- 7 この要領は、令和5年4月1日から実施し、令和4年度入学生から適用する。

## 4 その他

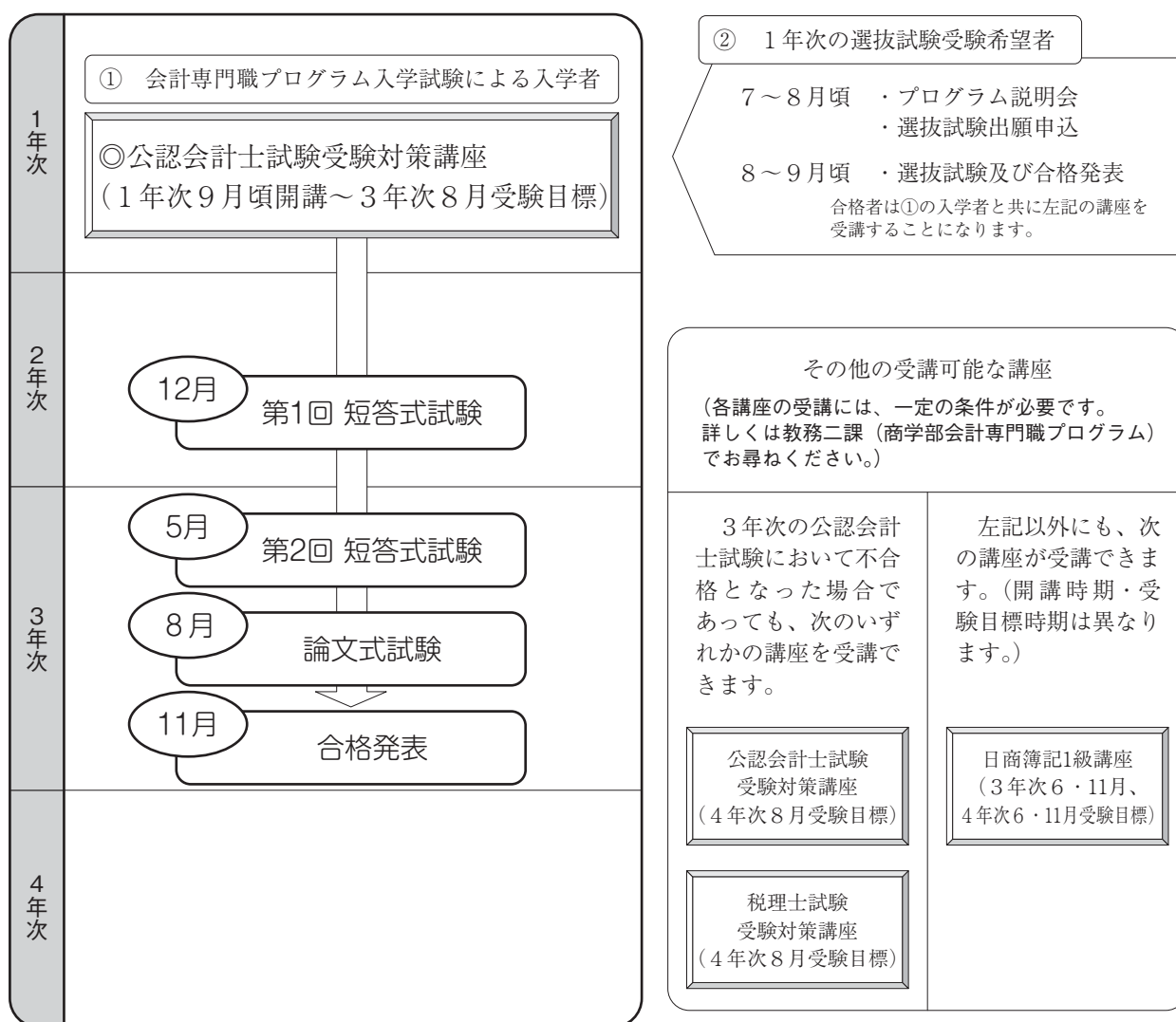
### 【会計専門職プログラムのスケジュール】

スケジュールは下表に示していますので、参考にしてください。

講座や試験の日程は多少前後する可能性もありますので、掲示などに注意してください。

なお、会計専門職プログラム学生となるには、次の3つの方法があります。

- ① 会計専門職プログラム入学試験による入学者
- ② 1年次の選抜試験合格者
- ③ 2年次の選抜試験合格者（※1）



◆公認会計士試験・税理士試験・国税専門官採用試験・日商簿記1級・全経簿記上級の合格は、4年次の選択必修科目であるキャリア研修X・Y・Zに該当します。単位認定の詳細についてはp.89を参照してください。



所属する学科の卒業要件とプログラムの修了要件（※2）を満たした場合、プログラム修了証が授与されます。

(注) 資格審査 (p.86内規第8条参照) は学年末に実施されます。

※1 2年次9月頃から開講の4年次8月を受験目標とする公認会計士試験受験対策講座を受講することになります。

※2 プログラム修了要件の詳細はp.88の別表第2を参照してください。

# クリエイティブ・マネジメント・プログラム

クリエイティブ・マネジメント・プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学の理論教育を深化させることにより、知的コンテンツ（映画、音楽、文芸、アニメーション、コンピュータゲーム等）を創造する産業界における制作活動の管理・監督者（ディレクター）、企画・事業化統括者（プロデューサー）、経営者などの育成を目的とする。（P.92内規第2条参照）

## 1 クリエイティブ・マネジメント・プログラムについて

- クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となる者は、商学部及び商学部第二部の学生に限ります。
- プログラム学生となるためには、1年次に実施されるクリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。なお、クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験の詳細はp.96に記載されていますが、「クリエイティブ社会論」の単位を修得することが受験資格となっているので（修得見込者も可）、プログラム学生となることを志願する者は特に注意して履修登録を行う必要があります。  
 なお、いったんプログラム学生となっても、p.93に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。
- クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験を受験する場合には、必ず「クリエイティブ・マネジメント・プログラム説明会」に出席しなければなりません。（欠席した者は受験できません。）  
 クリエイティブ・マネジメント・プログラム説明会の詳細な日時については商学部掲示板等に掲示します。
- プログラム学生は、クリエイティブ・マネジメント・プログラム独自の科目を履修することができます。  
 プログラム学生は、p.92～93に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。
- プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

## 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラムに関する内規と科目履修について

クリエイティブ・マネジメント・プログラムのプログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、以下の内規及び別表に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、十分注意し、p.94～95の学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

（趣旨）

第1条 福岡大学学科履修規程第6条の4第2項に規定する商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めあるもののほか、この内規に定めるところによる。

（目的）

第2条 プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学の理論教育を深化させることにより、知的コンテンツ（映画、音楽、文芸、アニメーション、コンピュータゲーム等）を創造する産業界における制作活動の管理・監督者（ディレクター）、企画・事業化統括者（プロデューサー）、経営者などの育成を目的とする。

(教育目標)

第3条 プログラムは、知的コンテンツへの関心及び情報技術に関する基礎知識を有し、かつ、勉学意識の高い学生を選抜し、演習に重点を置いたカリキュラムを学修することにより、知的コンテンツの制作活動の企画・事業化統括、管理・監督及び事業の経営に関する高度な理論と実践能力を修得することを目標とする。

(選抜)

第4条 プログラムの履修を希望する学生は、第1年次におけるプログラム選抜試験を経て、プログラム学生となる。

2 前項のプログラム選抜試験に関する事項は、別に定める。

(授業科目、単位等)

第5条 プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

(資格審査)

第6条 プログラムの履修にあたり、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

2 資格審査は、学年末に実施する。

3 資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、プログラム学生の資格を喪失する。

- (1) 退学、除籍又は転部（商学部又は商学部第二部への転部者を除く。）をした者
- (2) プログラムを修了する意思がないと認められる者
- (3) 別表に定める各年次の修了要件を満たすことができないことが確定した者
- (4) プログラム学生となった年度末の資格審査時において、当該年度の修得単位数が32単位に満たない者\*
- (5) 卒業までの在学年数（休学を除く。）が4年を越えることが確定した者
- (6) その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

4 プログラム学生として修得した全ての単位は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

(修了)

第7条 第4年次終了時にプログラム学生が所属する学科の卒業に必要な単位を修得し、かつ、卒業要件を満たすとともに、別表に定めるプログラムの修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

(補則)

第8条 プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、令和3年4月1日から施行する。

※教職課程のために特に設けられた科目（成績通知書において、教職課程科目欄に表示される科目）は32単位に含まない。

【令和6～3年度入学生（24～21台）】

別表第1

商学部（商学科、経営学科、貿易学科）のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次
1	※クリエイティブ社会論	2	2		1
1	※経営入門	2	8		-
1	※経営学総論	2			
1	※簿記原理	4			
1	□商学のための数学	2	-		-
1	□商学のための統計学	2			
1	□情報倫理	2			
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	8		2
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2			
2	※2年基礎ゼミナール	2			
2	※2年専門ゼミナール	2			
2	※プロジェクト・マネジメント論	2	4		3
2	※クリエイティブ・マネジメント論	2			
1	△経営戦略論	2	左記科目の うちから 6	14	3
1	△経営心理学	2			
1	△経営組織論	2			
2・3・4	△生産管理論	2			
2・3・4	△経営管理論	2			
2・3・4	△管理会計論	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2			
3	※3年専門ゼミナールⅠ	2			
3	※3年専門ゼミナールⅡ	2			
4	※論文ゼミナール	6	6		4

(注) ※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

【令和6～3年度入学生（24～21台）】

別表第2

商学部第二部商学科のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次
1	※クリエイティブ社会論	2	2		1
1	※経営入門	2	8		-
2・3・4	※経営学総論	2			
1	※簿記原理	4			
1	□商学のための数学	2	-		-
1	□商学のための統計学	2			
1	□情報倫理	2			
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	8		2
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2			
2	※2年基礎ゼミナール	2			
2	※2年専門ゼミナール	2			
2	※プロジェクト・マネジメント論	2	4		3
2	※クリエイティブ・マネジメント論	2			
2・3・4	△経営戦略論	2	左記科目の うちから 6	14	3
2・3・4	△経営心理学	2			
2・3・4	△経営組織論	2			
2・3・4	△生産管理論	2			
2・3・4	△経営管理論	2			
2・3・4	△管理会計論	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2			
3	※3年専門ゼミナールⅠ	2			
3	※3年専門ゼミナールⅡ	2			
4	※論文ゼミナール	6	6		4

(注) ※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目



### 3 クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験について

クリエイティブ・マネジメント・プログラムで学ぶためには、クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

試験の実施要領は以下のとおりですので、受験希望者は参照してください。

(目的)

- 1 この実施要領は、商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラムに関する内規（以下「内規」という。）第4条第2項の規程に基づき選抜試験について必要な事項を定める。

(募集時期)

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム(以下「プログラム」という。)の学生選抜試験の募集時期は、第1年次とする。

(募集人員)

- 3 プログラムの募集人員は、概ね次のとおりとする。

(1) 商学部商学科・経営学科・貿易学科・商学部第二部20人

(出願資格)

- 4 プログラム学生選抜試験に出願することができる者は、次の各号の条件をすべて満たすものとする。

(1) 商学部及び商学部第二部の第1年次に在籍する者

(2) プログラムの趣旨を理解し、合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思を固めている者

(3) 「クリエイティブ社会論」の単位を修得した者又は修得見込である者

(選考)

- 5 プログラム学生の選考は、前項各号に掲げる出願資格を確認の上、小論文及び面接により行い、その評点は各100点、合計200点満点とする。

(運営委員会)

- 6 プログラム学生選抜試験に関する学生募集、小論文及び面接は、クリエイティブ・マネジメント・プログラム運営委員会が実施する。

(実施日)

- 7 この要領は、令和6年4月1日から実施する。

# 高校商業・情報科教員育成プログラム

高校商業・情報科教員育成プログラムは、高等学校の商業科又は情報科の優れた教員となる人材を育成し、高等学校の教科教育に貢献するとともに高大接続を深化させ、商学部及び商学部第二部における人材養成をより効果的にすることによって、商学に関する研究成果を社会に還元する商学部及び商学部第二部の教育研究の理念を実現することを目的とします。(P. 97内規第2条参照)

## 1 高校商業・情報科教員育成プログラムについて

- 高校商業・情報科教員育成プログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となる者は、商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の学生に限ります。
- プログラム学生となるためには、特別ゼミナールA（教員育成基礎）の成績（標準得点）及び1年次に履修登録した科目（教職課程科目を含む。）の成績（標準得点）に基づく選考に合格しなければなりません。プログラム学生となることを志願する者は、特に注意して特別ゼミナールA（教員育成基礎）及び教職課程科目の履修登録を行う必要があります。また、特別講義A（教員育成入門）についても可能な限り履修登録することを推奨します。  
なお、いったんプログラム学生となっても、p. 98に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。
- プログラム学生となることを志願する者は、必ず「高校商業・情報科教員育成プログラム説明会」に出席しなければなりません。（正当な理由以外で欠席した者は志願できません）  
「高校商業・情報科教員育成プログラム説明会」は、4月入学直後に実施予定です。
- プログラム学生は、高校商業・情報科教員育成プログラム独自の科目を履修することができるほか、本学のキャリアセンターで開講される高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座を受講することができます。また、その講座が開講されない場合はプログラム独自の特別対策講座を開講し、合格へ向けたサポートを行います。プログラム学生は、p. 97～98に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。
- プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

## 2 商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラムに関する内規と科目履修について

高校商業・情報科教員育成プログラムの学生は、以下の内規及び別表第1、別表第2に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生は十分注意し、p. 99～102の該当する学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

（趣旨）

第1条 福岡大学学科履修規程第6条の4第3項に規定する商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の商業・情報科教員育成プログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めあるもののほか、この内規に定めるところによる。

（目的）

第2条 プログラムは、高等学校の商業科又は情報科の優れた教員となる人材を育成し、高等学校の教科教育に貢献するとともに高大接続を深化させ、商学部及び商学部第二部における人材養成をより効果的にすることによって、商学にかかる研究成果を社会に還元する商学部及び商学部第二部の教育研究の理念を実現することを目的とする。

(教育目標)

第3条 プログラムは、高等学校において商業科又は情報科の教員となる意欲と適性を持つ学生を選抜し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目(教科に関する科目を含む。)の履修に加えて、特別講義を含む演習に重点を置いたカリキュラムを学修させることにより、高等学校の商業科又は情報科の優秀な教員となるための高度な理論と教育能力を修得させることを目標とする。

(選抜)

第4条 プログラムの履修を希望する学生は、原則として、第1年次の成績に基づく選考を経て、プログラム学生となる。

2 前項のプログラム学生の選考に関する事項は、別に定める。

(授業科目、単位等)

第5条 プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

(講座の受講)

第6条 プログラム学生は、福岡大学が提供する高等学校商業科又は情報科教員採用試験受験対策講座を受講することができる。

(資格審査)

第7条 プログラムの履修にあたり、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

2 資格審査は、プログラム運営委員会が行う。

3 資格審査は、学年末に実施する。

4 資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、プログラム学生の資格を喪失する。

(1) 退学、除籍、転部(商学部又は商学部第二部への転部を除く。)又は商学部貿易学科への転科をした者

(2) プログラムを修了する意思がないと認められる者

(3) 別表に定める各年次の修了要件を満たすことができないことが確定した者

(4) 年度末の資格審査時において、当該年度の修得単位数が履修登録単位数の75パーセントに満たない者

(5) 卒業までの在学年数(休学を除く。)が4年を越えることが確定した者

(6) その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

5 プログラム学生として修得した全ての単位(教職課程科目を除く。)は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

(修了)

第8条 第4年次終了時にプログラム学生が所属する学科の卒業に必要な単位を修得し、かつ、卒業要件を満たすとともに、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目(教科に関する科目を含む。)の単位を修得し、別表に定めるプログラムの修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

(補則)

第9条 プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

※認定単位(成績通知書において、科目名欄に「\*」が記載されているもの)は、年度末の資格審査における履修登録単位数に含まないが、教職課程のために特に設けられた科目(成績通知書において、教職課程科目欄に表示される科目)は、年度末の資格審査における履修登録単位数に含む。

【令和6～4年度入学生（24～22台）】

別表第1 商学部（商学科・経営学科）のプログラム授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位	最低修得年次
1	□特別講義A（教員育成入門）	2	—	—
	※特別ゼミナールA（教員育成基礎）	2	2	1
2	※2年基礎ゼミナール	2	6	2
	※2年専門ゼミナール	2		
	※特別ゼミナールB（教員実力養成）	2		
3	※3年専門ゼミナールⅠ	2	4	3
	※3年専門ゼミナールⅡ	2		
4	△キャリア研修X	4	左記科目の うちから4	4
	△キャリア研修Y	4		
	△キャリア研修Z	4		
	※論文ゼミナール	6		

※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位に算入しないが履修を強く推奨する科目

(注)

- 1 プログラム学生は、学科履修規程第2条第4項に定める卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得するとともに、別表第1に定める修得必要単位を修得しなければならない。
- 2 プログラムの履修を希望する者は、第1年次に特別ゼミナールA（教員育成基礎）を履修しなければならない。
- 3 プログラム学生は、年次ごとに定める修得必要単位を当該年次終了までに修得しなければならない。
- 4 2年基礎ゼミナールは、別に指定するプログラムのクラスにおいて履修する。
- 5 キャリア研修の単位は、第4年次1月末日までに次の試験に合格したときにこれを認める。
  - (1) キャリア研修X 日商簿記検定試験2級又は全経簿記検定試験1級に合格し、かつ、日商販売士検定試験2級及び情報処理推進機構が実施する基本情報技術者検定試験に合格
  - (2) キャリア研修Y 日商簿記検定試験1級、全経簿記検定試験上級、日商販売士検定試験1級又は情報処理推進機構が実施する応用情報技術者検定試験のうち、いずれか一つに合格
  - (3) キャリア研修Z 公立高等学校の商業科若しくは情報科の教員採用試験に最終合格した者（公立高等学校採用候補者名簿に登載されること。）又はこれに準ずる進路を決定した者（学校法人等に教員としての採用内定を得た者等）

【令和3年度入学生（21台）】

別表第1 商学部（商学科・経営学科）のプログラム授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位	最低修得年次
1	※特別講義A（教員育成プログラム入門）	2	4	1（注4）
	※特別講義B（教員育成プログラム基礎）	2		
2	※2年基礎ゼミナール	2	4	2
	※2年専門ゼミナール	2		
3	※3年専門ゼミナールⅠ	2	4	3
	※3年専門ゼミナールⅡ	2		
4	△キャリア研修X	4	左記科目の うちから4	4
	△キャリア研修Y	4		
	△キャリア研修Z	4		
	※論文ゼミナール	6	6	

※必修科目、△選択必修科目

(注)

- 1 プログラム学生は、学科履修規程第2条第4項に定める卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得するとともに、別表第1に定める修得必要単位を修得しなければならない。
- 2 プログラムの履修を希望する者は、第1年次前期に特別講義A（教員育成プログラム入門）を履修しなければならない。
- 3 プログラム学生は、年次ごとに定める修得必要単位を当該年次終了までに修得しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、第1年次前期終了時のプログラム学生の選考で不合格となった者のうち、なおプログラム学生となることを希望する者は、定員に余裕がある場合に限り、第1年次末の追加選考を経てプログラム学生となることができる。この場合において、特別講義B（教員育成プログラム基礎）は、2年次後期に履修するものとする。
- 5 特別講義B（教員育成プログラム基礎）及び2年基礎ゼミナールは、別に指定するプログラムのクラスにおいて履修する。
- 6 キャリア研修の単位は、第4年次1月末日までに次の試験に合格したときにこれを認める。
  - (1) キャリア研修X 日商簿記検定試験2級又は全経簿記検定試験1級に合格し、かつ、日商販売士検定試験2級及び情報処理推進機構が実施する基本情報技術者検定試験に合格
  - (2) キャリア研修Y 日商簿記検定試験1級、全経簿記検定試験上級、日商販売士検定試験1級又は情報処理推進機構が実施する応用情報技術者検定試験のうち、いずれか一つに合格
  - (3) キャリア研修Z 公立高等学校の商業科又は情報科の教員採用試験に最終合格（公立高等学校採用候補者名簿に登録されること。）

【令和6～4年度入学生（24～22台）】

別表第2 第二部商学科のプログラム授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位	最低修得年次
1	<input type="checkbox"/> 特別講義A（教員育成入門）	2	—	—
	※特別ゼミナールA（教員育成基礎）	2	2	1
2	※2年基礎ゼミナール	2	2	2
	<input type="checkbox"/> 2年専門ゼミナール	2	—	—
	※特別ゼミナールB（教員実力養成）	2	2	2
2・3	△商学ゼミナールA	4	左記科目のうちから4	3
	△商学ゼミナールB	4		
	△金融ゼミナールA	4		
	△金融ゼミナールB	4		
	△経営ゼミナールA	4		
	△経営ゼミナールB	4		
	△会計ゼミナールA	4		
	△会計ゼミナールB	4		
	△国際ゼミナールA	4		
	△国際ゼミナールB	4		
3	△3年専門ゼミナールI	2		
	△3年専門ゼミナールII	2		
4	△キャリア研修X	4	左記科目のうちから4	4
	△キャリア研修Y	4		
	△キャリア研修Z	4		
	<input type="checkbox"/> 論文ゼミナール	6	—	—

※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位に算入しないが履修を強く推奨する科目

（注）

- 1 プログラム学生は、学科履修規程第2条第5項に定める卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得するとともに、別表第2に定める修得必要単位を修得しなければならない。
- 2 プログラムの履修を希望する者は、第1年次に特別ゼミナールA（教員育成基礎）を履修しなければならない。
- 3 プログラム学生は、年次ごとに定める修得必要単位を当該年次終了までに修得しなければならない。
- 4 2年基礎ゼミナールは、別に指定するプログラムのクラスにおいて履修する。
- 5 キャリア研修の単位は、第4年次1月末日までに次の試験に合格したときにこれを認める。
  - (1) キャリア研修X 日商簿記検定試験2級又は全経簿記検定試験1級に合格し、かつ、日商販売士検定試験2級及び情報処理推進機構が実施する基本情報技術者検定試験に合格
  - (2) キャリア研修Y 日商簿記検定試験1級、全経簿記検定試験上級、日商販売士検定試験1級又は情報処理推進機構が実施する応用情報技術者検定試験のうち、いずれか一つに合格
  - (3) キャリア研修Z 公立高等学校の商業科若しくは情報科の教員採用試験に最終合格した者（公立高等学校採用候補者名簿に登載されること。）又はこれに準ずる進路を決定した者（学校法人等に教員としての採用内定を得た者等）

【令和3年度入学生（21台）】

別表第2 第二部商学科のプログラム授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位	最低修得年次
1	※特別講義A（教員育成プログラム入門）	2	4	1（注4）
	※特別講義B（教員育成プログラム基礎）	2		
2	※2年基礎ゼミナール	2	2	2
	□2年専門ゼミナール	2	—	—
2・3	△商学ゼミナールA	4	左記科目のうちから4	3
	△商学ゼミナールB	4		
	△経営ゼミナールA	4		
	△経営ゼミナールB	4		
	△会計ゼミナールA	4		
	△会計ゼミナールB	4		
3	△3年専門ゼミナールⅠ	2		
	△3年専門ゼミナールⅡ	2		
4	△キャリア研修X	4	左記科目のうちから4	4
	△キャリア研修Y	4		
	△キャリア研修Z	4		
	□論文ゼミナール	6	—	—

※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位に算入しないが履修を強く推奨する科目

(注)

- 1 プログラム学生は、学科履修規程第2条第5項に定める卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得するとともに、別表第2に定める修得必要単位を修得しなければならない。
- 2 プログラムの履修を希望する者は、第1年次前期に特別講義A（教員育成プログラム入門）を履修しなければならない。
- 3 プログラム学生は、年次ごとに定める修得必要単位を当該年次終了までに修得しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、第1年次前期終了時のプログラム学生の選考で不合格となった者のうち、なおプログラム学生となることを希望する者は、定員に余裕がある場合に限り、第1年次末の追加選考を経てプログラム学生となることができる。この場合において、特別講義B（教員育成プログラム基礎）は、2年次後期に履修するものとする。
- 5 特別講義B（教員育成プログラム基礎）及び2年基礎ゼミナールは、別に指定するプログラムのクラスにおいて履修する。
- 6 キャリア研修の単位は、第4年次1月末日までに次の試験に合格したときにこれを認める。
  - (1) キャリア研修X 日商簿記検定試験2級又は全経簿記検定試験1級に合格し、かつ、日商販売士検定試験2級及び情報処理推進機構が実施する基本情報技術者検定試験に合格
  - (2) キャリア研修Y 日商簿記検定試験1級、全経簿記検定試験上級、日商販売士検定試験1級又は情報処理推進機構が実施する応用情報技術者検定試験のうち、いずれか一つに合格
  - (3) キャリア研修Z 公立高等学校の商業科又は情報科の教員採用試験に最終合格（公立高等学校採用候補者名簿に登録されること。）

## 【キャリア研修X・Y・Zの単位認定について】

### 1. キャリア研修X・Y・Zとは

キャリア研修X・Y・Zとは、プログラム修了要件別表（注）に示す試験に合格した場合に本人の申請により単位が認定される科目です。詳細は下表のとおりです。X・Y・Z全てを申請することも可能です。申請には合格証書の原本が必要ですので、必ず保管しておいてください。なお、本学入学前に合格した試験についても、申請することができます。

申請科目	対象となる試験・検定等	単位数
キャリア研修X	日商簿記検定試験2級 又は 全経簿記検定試験1級	4
	かつ 日商販売士検定試験2級 及び 基本情報技術者検定試験	
キャリア研修Y	日商簿記検定試験1級	左のうちいずれか1つ
	全経簿記検定試験上級	
	日商販売士検定試験1級	
	応用情報技術者検定試験	
キャリア研修Z	公立高等学校商業科教員採用試験最終試験若しくは公立高等学校情報科教員採用試験最終試験 (いずれも公立高等学校採用候補者名簿に登載されること) また、22台以降は上記に準ずる進路を決定した者（学校法人等に教員としての採用内定を得た者等）も対象	4

### 2. 受験票提出及び合格報告について

上表の各種試験の受験毎に、受験票の受領日から原則として1週間以内に2号館1階事務室に「受験票の控え（コピー）」を提出してください。また、各種試験に合格した際は、合格証書の発行日から原則として1週間以内に2号館1階事務室に「合格報告（報告書の提出及び合格証書の原本提示）」を行ってください。なお、入学前に合格した試験については、選考のうえプログラム学生となった時から1ヶ月以内に報告してください。報告の最終締め切りは4年次の1月末です。

### 3. キャリア研修単位認定申請について

キャリア研修単位認定の申請期間及び提出書類は次のとおりです。この期間内に、自身が希望する科目を申請します。なお申請する科目の対象となる試験の合格報告がなければ単位は認定されません。合格報告のみで申請書の提出がない場合も同様です。

申請期間：4年次の12月中の一定期間（詳細は11月上旬に掲示します）  
提出書類：キャリア研修単位認定申請書  
提出先：2号館1階事務室

なお、単位認定申請期間までに合格発表が行われていない試験であっても、4年次1月末日までに合格報告が可能な試験を受験している場合には、単位認定を申請することができます。

### 4. 単位の認定時期および履修登録について

単位の認定時期は4年次末です。

キャリア研修X・Y・Zは4年次のWeb履修登録は不要です。ただし、これらの単位は年間登録上限単位数に含まれます。申請する予定の単位数を差し引いて履修計画を立てる必要があるので注意してください。



### 3 高校商業・情報科教員育成プログラム学生の選考について

高校商業・情報科教員育成プログラムで学ぶためには、高校商業・情報科教員育成プログラム学生選考に合格しなければなりません。

選考の実施要領は以下のとおりですので、選考希望者は参照してください。

(目的)

- 1 この実施要領は、商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラムに関する内規第4条第2項の規定に基づき選考について必要な事項を定める。

(募集時期)

- 2 商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下「プログラム」という。）の学生選考の募集時期は、第1年次後期末とする。

(募集人員)

- 3 プログラムの募集人員は、各学科のバランスを考慮した上で、概ね20人とする。

(出願資格)

- 4 プログラム学生選考に出願することができる者は、次に掲げる条件をすべて満たすものとする。

- (1) 商学部商学科、経営学科、又は商学部第二部商学科の第1年次、又は貿易学科の学生で、商学部商学科、経営学科、又は商学部第二部商学科のいずれかの学科に転科希望の第1年次に在籍する者
- (2) 教職課程を履修している者
- (3) 高校商業・情報科教員の使命及びプログラムの趣旨を理解し、選考合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思がある者
- (4) 特別ゼミナールA（教員育成基礎）の単位を修得している者
- (5) 年度末の出願時点において、当該年度の修得単位数が履修登録単位数の75パーセントを満たしている者

(選考)

- 5 プログラム学生の選考は、次の各号に掲げる科目の1単位当たりの標準得点（各科目の標準得点に当該科目の単位数を乗じた点数の合計を当該各号に掲げる科目の総単位数で除した点数をいう。以下同じ。）の合計により行う。ただし、他大学又は短期大学において履修し、単位認定された科目及び短期大学又は高等専門学校等の専攻科において学修し、単位認定された科目を除く。

- (1) 特別ゼミナールA（教員育成基礎）の標準得点
- (2) 前号の科目を除く、第1年次に履修登録した科目（教職課程科目を含む。）の標準得点  
なお、応募者が多い場合、選考に当たって、特別講義A（教育育成入門）の履修の有無及び標準得点を評価項目に入れて行う。

(運営委員会)

- 6 プログラム学生選考に関する学生募集及び選考は、プログラム運営委員会が実施する。

(実施日)

- 7 この要領は、令和4年4月1日から実施し、令和4年度入学生から適用する。

## 4 その他

### 【高校商業・情報科教員育成プログラムのスケジュール】

スケジュールは下表に示していますので、参考にしてください。

#### 【1年次】

4月	・教職課程説明会
	・プログラム説明会
	・プログラム履修登録
9月	・プログラム履修登録
12月	・プログラム説明会及びプログラム学生募集
1月	・プログラム学生選考出願申込
2～3月	・プログラム学生選考及び合格発表
	・プログラム履修登録

#### 【2年次】

3月	・資格審査
----	-------

#### 【3年次】

6月	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座説明会
	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座受講申込
9月	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座開講
3月	・資格審査

#### 【4年次】

6月	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座終了
7月	・公立高等学校商業・情報科教員採用試験1次試験及び合格発表
	・教職課程教育センター高校商業・情報科教員免許状取得見込証明書発行
	・プログラム修了見込証発行
8～9月	・公立高等学校商業・情報科教員採用試験2次試験
10月	・公立高等学校商業・情報科教員採用試験2次試験合格発表及び採用候補者名簿登載
11月	・教職課程教育センター高校商業・情報科教員免許状一括申請説明会
12月	・教職課程教育センター高校商業・情報科教員免許状一括申請申込
	・キャリア研修X・Y・Z単位認定申請
2月	・キャリア研修X・Y・Z単位認定
3月	・卒業式終了後、高校商業・情報科教員免許状及びプログラム修了証授与
	・赴任校決定

# 地域ビジネスデザインプログラム

地域ビジネスデザインプログラムは、商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学、会計学及びマーケティングの理論教育を深化させるとともに、地域企業が実際に抱える課題に基づいて作成したビジネスケースを用い、調査研究と議論を通じて高度な理論とそれを実務に応用する能力を身に付け、企業が抱える課題の発見及び解決を行うことができる人材を育成することを目的とします。(P. 106内規第2条参照)

## 1 地域ビジネスデザインプログラム

- 地域ビジネスデザインプログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となれる者は、商学部第二部の学生に限ります。
- プログラム学生となるためには、1年次又は第2年次に実施される地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

なお、地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験の詳細は p. 109に記載されていますが、「簿記原理」「経営入門」「流通・マーケティング入門」の単位を修得することが受験資格となっているので(修得見込者も可)、プログラム学生となることを志願する者は特に注意して履修登録を行う必要があります。

なお、いったんプログラム学生となっても、p. 107に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。

- 地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験を受験する場合には、必ず「地域ビジネスデザインプログラム説明会」に出席しなければなりません。(欠席した者は受験できません)  
地域ビジネスデザインプログラム説明会開催の詳細な日時については商学部掲示板等に掲示します。
- プログラム学生は、地域ビジネスデザインプログラム独自の科目を履修することができます。プログラム学生は、p. 106～107に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。
- プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

## 2 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラムに関する内規と科目履修について

地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、以下の内規及び別表に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、十分注意し、p. 108の学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

(趣旨)

第1条 福岡大学学科履修規程第6条の4第4項に規定する商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めるもののほか、この内規に定めるところによる。

(目的)

第2条 プログラムは、商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学、会計学及びマーケティングの理論教育を深化させるとともに、地域企業が実際に抱える課題に基づいて作成したビジネスケースを用い、調査研究と議論を通じて高度な理論とそれを実務に応用する能力を身に付け、企業が抱える課題の発見及び解決を行うことができる人材を育成することを目的とする。

(教育目標)

第3条 プログラムは、経営学、マーケティング及び会計学に関する勉学意欲の高い学生を選抜し、ビジ

ネスデザイン（事業構想）に関する演習を中心としたカリキュラムを学修することにより、地域における企業のマネジメント課題の発見及び解決する能力を修得することを目標とする。

（選抜）

第4条 プログラムの履修を希望する学生は、第1年次又は第2年次におけるプログラム選抜試験を経て、プログラム学生となる。ただし、プログラム学生としての資格を有する期間は、1年に限るものとする。

2 前項のプログラム選抜試験に関する事項は、別に定める。

（授業科目、単位等）

第5条 プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

（資格審査）

第6条 プログラムの履修にあたり、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

2 資格審査は、プログラム運営委員会が適時に実施する。

3 資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、プログラム学生の資格を喪失する。

(1) 退学又は除籍をした者

(2) プログラムを修了する意思がないと認められる者

(3) プログラムを履修する年度に、別表に定める修了要件を満たすことができないことが確定した者

(4) その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

4 プログラム学生として修得した全ての単位は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

（修了）

第7条 プログラムを履修した年度の終了時において、別表に定める修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

（補則）

第8条 プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

【令和6～4年度入学生（24～22台）】

別表 商学部第二部地域ビジネスデザインプログラムの授業科目、単位等（第5条及び第7条関係）

授業科目	単位	修得必要単位
△マーケティング戦略論	2	左記科目のうちから2
△サービスマーケティング	2	
△マーケティングリサーチ	2	
△消費者行動論	2	左記科目のうちから4
△経営学総論	2	
△経営管理論	2	
△中小企業論	2	
△経営組織論	2	
△ヒューマンリソースマネジメント	2	
△経営戦略論	2	
△生産管理論	2	
△経営心理学	2	
△経営財務論	2	
△会計学総論	2	
△会社簿記	4	
△税と生活	2	
△財務会計論	2	
△原価計算論	4	
△経営分析論	2	
△管理会計論	2	
※ビジネスデザインゼミナール	4	4

(注) ※必修科目、△選択必修科目

【令和3年度以降入学生適用】

### 3 地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験について

地域ビジネスデザインプログラムで学ぶためには、地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

試験の実施要領は以下のとおりですので、受験希望者は参照してください。

(目的)

- 1 この実施要領は、商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラムに関する内規第4条第2項の規定に基づき選抜試験について必要な事項を定める。

(募集時期)

- 2 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下「プログラム」という。）の学生選抜試験の募集時期は、第1年次又は第2年次とする。

(募集人員)

- 3 プログラムの募集人員は、概ね10人とする。

(出願資格)

- 4 プログラム学生選抜試験に出願することができる者は、次の各号の条件をすべて満たすものとする。
  - (1) 商学部第二部の第1年次又は第2年次に在籍する者
  - (2) 「簿記原理」「経営入門」「流通・マーケティング」の単位を修得した者又は修得見込みである者（出願時に修得していない者又は修得見込みのない者であっても、プログラム運営委員会が特別の事情があると認めるときは、プログラムの履修年度に当該単位を修得することを妨げない。）
  - (3) プログラムの趣旨を理解し、合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思を固めている者
  - (4) 過去にプログラム学生でなかった者

(選考)

- 5 プログラム学生の選考は、前項各号に掲げる出願資格を確認の上、筆記試験及び面接により行い、その評点は各100点、合計200点満点とする。

(運営委員会)

- 6 プログラム学生選抜試験に関する学生募集、筆記試験及び面接は、地域ビジネスデザインプログラム運営委員会が実施する。

(実施日)

- 7 この要領は、令和6年4月1日から実施し、令和6年度入学生から適用する。

# 卒業要件単位数・年次別授業科目表

令和5年度入学生（23台）以前は、学科履修規程（p.150～167）を参照してください。

## ●卒業要件単位〔学科履修規程 第2条 第5項参照〕

### 商学部第二部 商学科 令和6年度入学生（BB24台）

共通教育科目	総合教養科目	人文科学 社会科学 自然科学 総合系列科目 学修基盤科目	計20単位以上	総計124単位以上
	外国語科目	第1外国語	8単位以上	
		第2外国語	4単位以上	
	保健体育科目	3単位以上		
単位互換科目				
専門教育科目	選択必修科目1群	6単位以上	計60単位以上	
	選択必修科目2群	4単位以上		
	選択科目	50単位以上		
自由履修単位	共通教育科目 専門教育科目 関連教育科目	計29単位以上		
<p>(注) 1. 選択必修科目1群を6単位以上修得した場合は、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。</p> <p>2. 選択必修科目2群を4単位以上修得した場合は、4単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。</p> <p>3. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。</p> <p>4. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教育科目、専門科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。</p> <p>5. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。</p> <p>6. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。</p> <p>7. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。</p>				

●年次別授業科目表〔学科履修規程 第4条 別表参照〕

商学部第二部 商学科 令和6年度入学生 (BB24台)

□内の科目は、令和5年度に登録可能な科目です。

■内の科目は、令和5年度には登録できません。

※印は必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	〔哲学A〕	2	〔哲学B〕	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		〔日本史A〕	2	〔日本史B〕	2	東洋史A	2	東洋史B	2
	社会科学	西洋史A	2	西洋史B	2	〔日本文学A〕	2	〔日本文学B〕	2
		アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		人文地理学	2	〔芸術A〕	2	〔芸術B〕	2	日本教育史	2
	自然科学	西洋教育史	2						
		法政学A	2	法政学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		政治学B	2	経済学A	2	経済学B	2	〔社会学A〕	2
	総合系列科目	〔社会学B〕	2	教育学A	2	教育学B	2	教育の原理・課程論	2
地理学A		2	地理学B	2	地理誌	2	心理学A	2	
地理学B		2	文化人類学A	2	文化人類学B	2			
学修基盤科目	数学入門	2	基礎数学	2	〔統計入門〕	2	物理学入門	2	
	物理の世界	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	〔地球科学入門〕	2	
	〔新しい地球観〕	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2	
		自然科学と人間	2	自然地理学(第3年次配当)	2				
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		データサイエンス・AI入門 2							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
科目	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディア・イングリッシュⅠ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディア・イングリッシュⅡ	1				
	第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディア・イングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディア・イングリッシュⅣ	1				
			海外英語研修	2					
		ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
		中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
	〔ロシア語Ⅰ〕	2	〔ロシア語Ⅱ〕	2					
	〔スペイン語Ⅰ〕	2	〔スペイン語Ⅱ〕	2					
	朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	選択必修科目	1群	流通・マーケティング入門	2					
			金融入門	2					
	2群		経営入門	2					
			簿記原理	4					
	選択科目				◎ビジネスデザインゼミナール	4			
					商学ゼミナールA	4	商学ゼミナールB	4	
					金融ゼミナールA	4	金融ゼミナールB	4	
					経営ゼミナールA	4	経営ゼミナールB	4	
					会計ゼミナールA	4	会計ゼミナールB	4	
					国際ゼミナールA	4	国際ゼミナールB	4	
						○●☆3年専門ゼミナールⅠ	2	論文ゼミナール	6
						○●☆3年専門ゼミナールⅡ	2		
		基礎ゼミナール	2	○●☆2年基礎ゼミナール	2			○☆キャリア研修X	4
		○会計基礎ゼミナール	2	○●☆2年専門ゼミナール	2			○☆キャリア研修Y	4
								○☆キャリア研修Z	4
		情報表現技術	2	外書講読ⅠA	2	外書講読ⅡA	2	外書講読ⅡB	2
		情報倫理	2	外書講読ⅠB	2	外書講読上級A	2	外書講読上級B	2
		情報特別講義A	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2	特別講義C	2
		情報特別講義B	2	特別講義D	2	マルチメディア概論	2	情報システム論	2
				〔海外交流ゼミナール〕	4				
			マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2	
			地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2	
			〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	情報金融論	2	
			金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2	
			交通経済論	2	海運と航空	2	交通システム論	2	
			生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	保険論	2	
			近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2	商業史概論	2	
			経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2	
			経営学総論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営戦略論	2	
			国際経営論	2	経営組織論	2	経営戦略論	2	
			生産管理論	2	オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2	
			会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2	
			会計学総論	2	国際会計論	2	管理会計論	2	
			会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2	
			国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2	
			ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2			
			概説日本史	2	〔概説外国史〕	2	〔概説法律学〕	2	
			概説政治学	2	概説社会学	2			
育関連科目		民法A	2	民法B	2	〔商事法〕	4	〔経済法〕	4
		労働法	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	〔財政学〕	4
		概説哲学(第2年次配当)	2						
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。  
 (2) ●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。  
 (3) ☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。  
 (4) ◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。  
 (5) [ ]内は今年度休講。



# 各種課程の履修について

本学では教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を開設しており、学生の免許・資格の取得をサポートしています。これらの課程の履修方法については別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程 履修の手引』を参照してください。

## 教職課程

本学の各学部・学科で取得できる教員免許状は次の表のとおりです。

### 〈取得できる免許状の種類と教科〉

学 部	学 科	免許状の種類及び教科		
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の一種免許状
人文学部	文化学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	歴史学科			
	日本語日本文学科	国 語	国 語	
	教育・臨床心理学科	社 会	公 民	
	英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)	
	ドイツ語学科	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
	フランス語学科	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
	東アジア地域言語学科	中国コース 外国語(中国語)	外国語(中国語)	
	韓国コース 外国語(朝鮮語)	外国語(朝鮮語)		
法学部	法律学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	経営法学科			
経済学部	経済学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民 ・ 情 報	—
	産業経済学科			
商学部	商学科	—	商 業 ・ 情 報	—
	経営学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	
	貿易学科			
商学部第二部	商学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民 ・ 商 業 ・ 情 報	—
理学部	応用数学科	数 学	数 学 ・ 情 報	—
	物理科学科	理 科	理 科 ・ 情 報	
	化学科		理 科	
	地球圏科学科		理 科	
工学部	機械工学科	—	工 業	—
	電気工学科		工 業 ・ 情 報	
	電子情報工学科		工 業	
	化学システム工学科			
	社会デザイン工学科			
	建築学科			
医学部	看護学科	—	看 護	養 護 教 諭
スポーツ科学部	スポーツ科学科	保 健 体 育	保 健 体 育	—
	健康運動科学科			

[人文学部ドイツ語学科・フランス語学科・東アジア地域言語学科]

他学科の科目を履修することで、人文学部ドイツ語学科・フランス語学科については「外国語(英語)」の免許状を、東アジア地域言語学科については「国語」の免許状を取得することが可能です。しかし、いずれも在籍する学科で取得できる免許教科の取得が前提であり、その他成績等の制約も設けられているため在学中の取得は難しいかもしれません。

[医学部看護学科]

高一種「看護」と養護教諭一種免許状を取得できますが、学科の看護学実習等もあるため、在学中に両方を取得することは困難です。どちらかに決めて履修の方が望ましいでしょう。

[小学校教諭免許状取得プログラム]

本プログラムに参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位の修得も可能です。ただし参加条件があり、1年次の後期に応募し受講を許可される必要があります。

## 博物館学芸員課程

学芸員とは、博物館（美術館・歴史資料館・動物園・植物園・水族館など）に置かれる専門職員で、資料の収集や保管、調査研究、展示などを行います。

本学では次の学部・学科に学芸員となる資格を取得できる博物館学芸員課程を設けています。

学 部	学 科
人 文 学 部	文 化 学 科
	歴 史 学 科
理 学 部	応 用 数 学 科
	物 理 科 学 科
	化 学 科
	地 球 圏 科 学 科

## 社会教育主事課程

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる「専門的教育職員」であり、主に学校外教育で青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーションの活動を含む。）を行う者に専門的・技術的な助言と指導を行うことを職務とします。

本学では次の学部・学科に社会教育主事となるために必要な単位を修得できる社会教育主事課程を設けています。

学 部	学 科
人 文 学 部	文 化 学 科
	教 育 ・ 臨 床 心 理 学 科
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科
	健 康 運 動 科 学 科

# 外国語科目クラス別担当者一覧

※英語のレギュラークラス（目的別クラス）担当者については、Web履修登録画面または授業科目確認表を参照してください。

## 英語 再履修クラス

### フレッシュマン・イングリッシュ (FE)

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
FE I	B再	前期	月	夜2	田中悠介
FE II		後期	月	夜2	竹安大
FE III		前期	月	夜1	武内梓朗
FE IV		後期	月	夜1	田中悠介

### インターミディエイト・イングリッシュ (IE)

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
IE I	B再	前期	火	夜2	後藤礼圭
IE II		後期	火	夜2	武内梓朗
IE III		前期	金	夜1	久保佑輔
IE IV		後期	金	夜1	久保佑輔

## 【23台以前 第2外国語科目】

### ドイツ語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I	全	通年	木	夜1	片岡宜行
II		通年	木	夜2	片岡宜行

### フランス語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I	全	通年	木	夜1	遠藤文彦
II		通年	木	夜2	遠藤文彦

### 中国語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I	全	通年	木	夜1	宮下尚子
II		通年	木	夜2	宮下尚子

### 朝鮮語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I	全	通年	木	夜1	李泰勳
II		通年	木	夜2	李泰勳

## 【24台 第2外国語科目】

※24台対象クラスの授業および定期試験は、昼間部の時間帯に行います。

### ドイツ語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I A	全	通年	月	5	ライヒャルト
I B		通年	木	4	金山正道

### フランス語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I A	全	通年	月	5	渡邊佳奈
I B		通年	木	4	河野敦子

### 中国語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I A	BB1-3	通年	月	5	チョウロ
I B		通年	木	4	羽田ジェシカ
I A	BB4-6	通年	月	5	オウイクブン
I B		通年	木	4	堤和幸

### 朝鮮語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I A	BB1-2	通年	月	5	趙賢眞
I B		通年	木	4	李廷恩
I A	BB3-4	通年	月	5	千受珉
I B		通年	木	4	趙賢眞
I A	BB5	通年	月	5	呉獨立
I B		通年	木	4	崔秀蓮
I A	BB6	通年	月	5	金京姫
I B		通年	木	4	金慶湖

### スペイン語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I A	全	通年	木	4	青木文夫
I B		通年	月	5	フジヨシ ミヨコ

### ロシア語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
I A	全	通年	火	3	ヴェラ
I B		通年	金	5	ヴェラ